静商同窓会関東支部会報

発行人
静岡県立静岡商業高等学校
同窓会　関東支部
（静商同窓会関東支部）
〒108-0073
東京都港区芝2丁目3-19
バンザイビル2F
TEL 03(5443)1235
FAX 03(5443)1236

編集
関東支部広報部会
平成15年5月28日発行
（毎年1回・5月発行）
題字　湯本克巳氏
第12号

平成十四年度総会・懇親会

会場も新た！新しい語らいのひととき

日本橋茅場町 鉄鋼会館に 百七十三名が集う

根本昭と湘南カイブリーズのハワイアンバンド演奏

平成十四年度の関東支部総会と懇親会が、平成十四年七月十三日（土）午後二時より、今年から新しい会場となった「鉄鋼会館」で開催された。

総会は、海野支部長挨拶、桜井本部同窓会長・萩田教頭のご祝辞をいただいた後、会計報告・予算審議、会務報告など議事が滞りなく行われた。引き続き、百七十三名を3つに分けての集合写真撮影、楽しい懇親会へと移った。

4つのテーマ 出会い・音楽♪ ゲーム・唄おう

S34年度卒　小長井武夫

懇親会は、今年度運営幹事である昭和24、34、44、54年度卒業生28名と静岡から応援にかけつけてくれましたS34年度卒辰巳会有志7名の計35名の進行により行われました。

会場には、ハワイアンバンドの「根本昭と湘南カイブリーズ」が演奏するさわやかなハワイアンメロディーが流れるなか、参加者全員、胸には「名前、卒業年度、出身中学」を記載したネームプレートをつけ、卒業年度ごとに定められたテーブルにつきました。

全員が会場に入ると、司会のS34年度卒水野君のオープニング宣言に続いて、S42年度卒山口ひろみさんの楽しい乾杯の音頭により始まりました。

今回は会場も新たになったこともあり、幹事も何か目新しい企画をと知恵を絞り、前年までの懇親会スタイルから少々の脱皮を考え、出席された皆さんが「こんな楽しいパーティーなら来年もこよう！」を目標に、「出会い」「音楽」「ゲーム」「唄おう」の四つのテーマに組み立てて企画しました。

「出会い」については、ネームプレートに出身中学校名を入れました。

「音楽」については、S26年度卒根本先輩、S27年度卒藤浪先輩がハワイアンバンドで活躍されておりますので、夏の催しには最適と考えお願いすることにしました。

「ゲーム」については、全員が懇親会に参加し、楽しい思い出になるよう沢山の賞品をもとに抽選会を用意しました

「唄おう」については以前の懇親会で話題になった応援歌「凱歌を挙げて」を主テーマに応援歌を思い切り歌う時間を設けました。また、それをご自宅でも楽しめるよう現代風にアレンジした「校歌、応援歌カラオケCD」をお土産に用意しました。

同好会関連については、会場内に「同好会紹介ブース」を設けそれぞれの同窓会が特徴を生かした宣伝を行いました。

今回は新しい同好会として「グルメの会」の

【次ページへ】

平成15年度（第14回）
関東支部総会・懇親会
7月12日（土）
鉄鋼会館
詳しくは9ページをご覧下さい

今年の会場も昨年と同様「鉄鋼会館」です。総会では役員の改選があります。懇親会では、元プロ野球選手の新浦寿夫氏との対談をはじめ、新茶の試飲・郷土料理・抽選会などのイベントを用意、好評のハワイアンバンド演奏により、夏の涼しいひと時をお過ごしいただきます。カジュアルな服装でお気軽にお越しください。

音楽♪

【前ページより】

募集がありました。興味のある方は、末尾掲載の同好会幹事までお申し込みください。

また、毎年欠かすことの出来ない「郷土料理コーナー」は例年に倣い「ワサビ漬」の販売コーナーを設けたほか、故郷直送品「黒はんぺん」「桜えび」を会場経営のコックドールさん料理長のご好意により、揚げたての「黒はんぺん」「桜えびのかき揚げ」コーナーを設けました。双方とも大変な人気で特に桜えびのかき揚げは、まさに揚げたてが食べられることもあり、テーブルに出せばすぐになくなるほどの大好評を得ました。

司会の水野さん

さて、「出会い」「音楽」「ゲーム」「唄おう」がテーマの懇親会は、水野君の絶妙なウィットに富んだ名司会により順調に進行しました。

名札に出身中学校を記載したことで、これまで静商の先輩・後輩として会っていたが「中学校まで同窓とは知らなかった」と、またひとつ違った同窓の輪が広がったようです。

「湘南カイブリーズ」の演奏は、懇親会のオープニングに、歓談中に、そしてエンディングにとメンバーの方々は食事もままならないほどご活躍をいただき、皆さんが良くご存知の曲でさわやかな演奏を披露してくれました。

パーティーの途中、会場内に突然配られた「凱歌を挙げて」と書かれたブルーとピンクの「うちわ」そしてハワイアンにちなんだ「レイ」は、これから始まるゲームコーナー等へのファンファーレになり会場内のムードを一層盛り上げることになりました。

乾杯の音頭　山口さん

ゲームコーナーは、有志の皆さんからご寄贈いただいた品物に幹事が用意した品物をプラスして、出来るだけ多くの方がお土産として賞品が当たるようセットしましたが、会場は楽しいお酒とお話で満杯になっていたため、思うように司会者の声が伝わらなかったこともあり、幹事の思惑とは一寸違ってしまいました。賞品がお手元に届かなかった方はこの場をお借りしまして お詫び申し上げます。抽選方法、賞品の準備等、反省材料は次回の幹事へ引継ぎさせていただき今後改めていきたいと思います。

唄おうコーナーはS54年度卒矢部君の指揮と指導により校歌・応援歌第1～第6そして「凱歌を挙げて」を全員で肩を組み輪になって、遊びに、勉学に、クラブ活動にと、あの良き静商の青春時代を、それぞれの思い出にひたりながら大声で唄いました。唄い終わった後の皆さんのさわやかな顔・顔・顔がとても印象的でした。

また、出席の皆さんには、幹事手造りのCD「凱歌を挙げて」をこの場の雰囲気を込めてお持ち帰りいただきました。是非ご家族の皆様と一緒に歌い、すばらしい静商をこれからも末永く教え伝えていただきたいと思います。

お開きには、S34年度卒桑原君、それに当日静岡から参じてくれました岩崎君の指揮で校歌を斉唱、エールを交換し、参加者ならびにご家族の皆さん、そして同窓会の発展を祈念し、来年の再会と新しい出会いを願い盛会裏に締めることが出来ました。

遠路静岡からご参加いただいた同窓会本部・学校関係の皆様ならびに辰巳会メンバー有志の皆さんありがとうございました。

そして、関東各地から参集いただいた支部会員の皆さんありがとうございました。

来年はより多くの会員が参加され、より楽しい懇親会になるよう、今回ご出席の皆さんから1人でも多くの方をお誘いいただくことをお願いします。

そして、真夏の太陽が照りつける下で「静商同窓会」のはっぴを着て汗だくで会場への誘導を担当してくれましたS54年度卒の皆さん、また、若輩の幹事を側面から支えていただきましたS24年度卒の皆さん、そして会場内でホステス・ホスト役として動いていただいたS34年度卒を初めとした各年度卒の皆さん本当にご苦

今、若い！　今も若い

ご苦労様でした。今年の当番幹事の皆さん

労様でした。

おかげさまで、その後の支部幹事会反省会におきましては、会場の広さとスペースの使い方、テーブルの大きさ、進行の一部、写真撮影等多少の問題ナシとはいえませんが、押しなべて好評をいただきましたことをここに報告させていただきます。

最後になりますが、同窓会会員ではありませんがバンド演奏で盛り上げていただきました小林様、倉橋様ならびに会場の設営、お料理等の準備にご協力いただきましたコックドール営業課長はじめスタッフの皆さんにお礼申し上げ、平成14年度静商同窓会関東支部総会懇親会の報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

今回の抽選会には次の皆さんから賞品をご寄贈いただきました。（敬称略）

内藤　義人（S 24年度卒）
磯部　信雄（S 27年度卒）
成川　貞夫（S 27年度卒）
曽根　満夫（S 27年度卒）
長谷川　勉（S 31年度卒）
一色　正一（S 31年度卒）
曽我　和善（S 33年度卒）
常盤　秀樹（S 34年度卒）
小長井武夫（S 34年度卒）
水野　恵司（S 34年度卒）
関塚　仍子（S 40年度卒）
冨田　正巳（S 43年度卒）
大沼　弘明（S 54年度卒）
金原　張尚（S 54年度卒）

大当り

副支部長に就任して

副支部長兼組織部長　宗野　治義（S32年卒）

そんな時に同期の中村達郎さんから会員名簿の管理をする組織部の仕事を手伝ってほしいとの要請があった。湯本支部長（当時・現顧問）をはじめ設立にご尽力された諸先輩方の母校を思う気持ちにひかれ、お手伝いをすることをお引き受けした。それがもう10年以上になった。昨年春、思いがけず中村副支部長が急逝された。中村さんの同窓会に対する情熱を受け継ぐことが供養となるのではないかと思い、微力ながら副支部長の大役をお受けした。同窓会の発展に少しでもお役にたつことが出来れば幸甚と思っている。

46年前、静商卒業と同時に上京し、サラリーマンになった時は仕事を覚えることが精一杯でふるさとのことや学校のことをじっくり考える余裕もなく、あっという間の数十年間だった。そして、ある年代になってやっと同窓会に参加してみようという気持ちになり、また何かお役に立つ仕事をしてみようかと思った。

総会語録

どこにでもある同窓会でない、一味違った静商同窓会関東支部に。

①上下関係を作らない。
②悪口を言わない。
③ビジネスを持ち込まない。

【海野支部長】

今日は御礼にきました。本部同窓会の経済的ピンチは、おかげさまで回避できました。

【桜井同窓会会長】

「凱歌を挙げて」のCDが母校にも届いた。感激した。

静商は「あいさつ」の出来る学校、応援のリーダー、チアガール、音楽吹奏の見事さで他校に勝る。ニコニコ、ハキハキ、キビキビ（NHK）がモットー。

【萩田教頭】

故郷を離れても、年に1回逢える場所があることはすばらしい。

【関塚副支部長】

同好会

関東支部には、現在4つの同好会があります。入会希望の方は左記まで

●歩く会
望月　秀雄
0424(87)1497

●カラオケ同好会
青木　洋一
03(3450)8156

●グルメの会
杉本　博行
03(5697)1700

●ゴルフ同好会
知行　敬矩
FAX
042(365)3340

静商同窓会入会式と感動した卒業式

本部同窓会副会長
澤田　幸子（S31年卒）

去る二月二十八日、花冷えのする母校体育館において、例年どおり同窓会入会式が行われました。今年度は284名の新卒業生が同窓会に入会し、桜井同窓会長がにこやかに歓迎のご挨拶をし、それぞれの道での活躍を期待するとともに、歴史ある静商同窓会の一員としての自覚を持ち頑張ってほしいと励まされました。

続いて、十四名のHR代表幹事に委嘱状が渡され、新入会員は少し緊張気味の様子でしたが、厳粛な雰囲気の中、無事終了いたしました。

入会式に先立ち、第四回静商同窓会教育振興基金の贈呈式を行いました。

大学進学育英資金は九名の生徒に各一〇万円贈呈、学業奨励金は76名に六十二万円、これは全商各種検定試験2級以上の合格者です。クラブ奨励資金は一一〇名に八十九万円、これは東海大会と全国大会の出場者です。国際交流資金は台湾への留学生一名に一〇万円、優秀生徒表彰は一一〇名にメタルと記念ボールペン約25万円、このように百周年記念教育振興基金は贈呈されております。

三月三日、通算第一〇四回の卒業式が行われ、同窓会代表として参列いたしました。今までに十数回出席させていただいていつも感動していましたが、今年の卒業式の何とすばらしかったこと、今までにない特別な卒業式のように思いました。

あの百周年記念事業を契機に、何か学校が変わってきている様に思えます。卒業生を送る在校生代表のあいさつも立派でしたが、特に答辞がお見事でした。卒業生を代表して元生徒会長が、涙にむせびながら読んだ答辞は、卒業生全員と先生方、在校生、父兄など、参列者全員の涙を誘いました。

その内容は、高校生活三年間を振り返り、楽しかったこと、苦しかったこと、もう少し真剣に勉強しておけばよかった、多くの友と思う存分語り合っておけばよかった、なぜもう少し早く気がつかなかったのかと、後悔の念に駆られながら、今気がついたけれど遅かった…と、学びの舎に別れを告げる心境を、切々と読み上げて、聞いている私たちに感動を与えてくれました。一人ひとりの心の中は見えませんが、卒業生全員が流した涙は、いろいろな思い出のこもった涙ではなかったでしょうか。岡田校長の式辞も内容が深く、生徒の脳裏に焼きついたことでしょう。

私はいつも思います。この生徒達が順調にそれぞれの道で自分の力を充分発揮し、頑張ってくれますようにと、我が子のように願っております。

静商の学業レベルは残念ながら少し低下しているといわれますが、これだけの感動を与えてくれた卒業式ができるのは、やはり先生方の指導力があり、それに応えるべく生徒も努力しているからだと推察いたします。そして、これがまさしく伝統校の眼に見えない「剛健進取」の校風が息づいていることなのだと実感いたしました。

同窓会の副会長として、会長、教頭先生とご一緒に、関東支部の総会に数回出席させていただいておりますが、ここでの温かい雰囲気に、いつも感激しております。上手に表現することが出来ませんが、故郷を離れ、立派に活躍されている皆さん方一人ひとりが、青春時代の同志と、一緒の時を過ごすよろこびとでもいいましょうか、大きな家族集団のように思えます。一年に一回、お互いの健康を確かめ合いながら楽しく集う姿は、微笑ましくあり、ここまで一つにまとめ上げられたリーダーの皆様方のご努力に敬服いたします。

私は、黒ハンペンとシラス、桜エビの天ぷらも楽しみに出席させていただいております。自分が関東支部の一員になったような錯覚におちいるのは、何でだろうか?…

これからも魅力的な会が、永遠に続きますよう、そして、今年も楽しく、素晴らしい会が催されますよう、関東支部のますますの発展を、心からお祈りいたしております。

中部支部が発足

愛知・岐阜・三重

中部支部長
杉山　千秋（S29年卒）

この度、静商同窓会中部支部の設立総会が平成十四年十月二十六日（土）名古屋の中日パレス会場にて、会員三十二名が参加して開催されました。関東・関西に次ぐ静岡県外では3番目の支部が新たに発足しました。

一〇年ほど前から「名古屋SC会」の名称で、毎年懇親会を開いていましたが、昨年7月の例会で、名古屋地区に在住する卒業生に、もっと広く呼びかけて故郷を遠く離れた皆の同窓会組織を繕うとの意見がまとまったものです。

支部の範囲は、愛知・岐阜・三重の中部3県で、会員数は本部事務局にご協力いただき調べました。二八〇名の同窓生が名簿で確認されたので、本部の支部設立承認を得て、正式発足の運びとなりました。設立にあたり関東支部の海野昭支部長には格別のご指導をいただき、ありがたく感謝しております。

おかげさまで、総会は盛会で、引き続いての懇親会では、久しぶりに校歌を斉唱し、横山昌弘氏（S27年の全国高校野球優勝選手）のスピーチに耳を傾けるなど、会員相互の親睦をより深める、またとない同窓生の集いとなりました。

支部発足が母校の第1回卒業生誕生から、ちょうど100年の節目にあたる年にスタートできました。古き歴史を引継ぎ、次の時代への出発点として「明るく、元気に、気持ち良く」をモットーに、一歩一歩着実に、支部発展の基礎固めをしていきたいと考えております。よろしくご支援のほどお願い申し上げます。

今年の関東への新入会員は五十一名

平成14年度卒業生の内、関東地区居住予定者は全部で51名です。

女性18名、男性33名
進学50名、就職1名

第十一回世界相撲選手権大会に参加して

S 36年卒　下村　勝彦

平成十四年十一月三十日より2日間、世界相撲選手権大会と第2回世界新相撲（女子）選手権大会が、ポーランドのヴロツワフ市で開催され、私も国際相撲連盟からの要請を受け副審判長として参加することになりました。

成田空港からルフトハンザ航空で、フランクフルトまで12時間、2時間待ち合わせしてワルシャワへ、そこからバスで、街灯もほとんど無い霧のかかった夜の田舎道を5時間かけて走り、夜中の0時10分に、目的地のホテルに着くという強行スケジュールで、選手もいささか参った様子でした。

ポーランドは私にとって初めてですが、日本との関係は？と調べてみると、1920年代にドイツ、ロシアに侵略された時に、そこに残された戦争孤児765人を、日本赤十字社がいち早く引き取り、福井県の敦賀へ招集し保護してあげたという歴史があり、またそのお礼として、先の阪神淡路大震災時に災害地の子供達をポーランドへ招待してくれたという、暖かい交流があったことを知りました。そのおかげでしょうか、大会中、地元の人達から日本選手へ、大変大きな声援と拍手をいただき、感謝しています。

いま、大相撲は横綱を外人力士に占められ、国技という名が心細く聞えてくる状況ですが、世界大会でも外国選手のパワーは、日本の脅威となっています。現在、世界86ヶ国に相撲が普及されていますが、ロシアを中心としたヨーロッパ勢が急速に力を伸ばしています。

今大会も、日本は男・女団体戦は何とか優勝したものの、内容は紙一重であり、特に男子個人戦では、中量級で3位に入賞した以外、軽量・重量級、無差別とすべて予選落ちという結果でした。こうした中でも、この大会で私にとって、大変嬉しいことが3つありました。

写真左が石谷さん　中央下村氏　左が池森君

その1つは、静岡商業出身で、現在日大相撲部で活躍している石谷里美さんが、女子軽量級で個人優勝してくれたことです。彼女は、焼津すもうクラブで練習し、全日本選手権で4回優勝の力を持つ選手です。

2つ目は、平成2年にブラジル少年相撲チームが焼津に来て、わが家にホームステイをした池森・クラウディオ君と十二年ぶりに再会でき、しかも、彼が男子軽量級個人戦で優勝してくれたことです。

3つ目は、静商相撲部同期生で、現在タイで活躍し、タイ相撲連盟副会長としても選手育成に尽力している倉沢君に久しぶりに会えたことです。そして、パーティでは倉沢君、池森君、石谷さんや世界の選手たちと楽しく、美味しい酒を飲ませてもらいました。

平成十五年は、アジア大会が香港で、世界大会はロシアのモスクワで開催されます。今年も参加することを楽しみにしています。

そして、いま静岡は国体開催で盛り上がっています。焼津市も相撲と軟式野球の2つの競技が行われます。市の国体準備室を中心に、選手を迎える準備が着々と進んでいます。私の息子も準備室の選手宿泊担当をして、親子で頑張っています。十月二十六日（日）から始まる国体に、ぜひ来てください。そして、焼津の〝ハンペ〟（黒ハンペン）で一杯やりながら、相撲を応援してください。帰りにマグロやカツオのタタキでも買っていってくれれば、焼津水産界にとっても、感謝！感謝！となります。

今年　静岡で国体

NEW！　わかふじ国体

夏季　九月　十三日（土）～十六日（火）

秋季　十月二十五日（土）～三十日（木）

昭和三十二年開催以来、四十六年ぶり

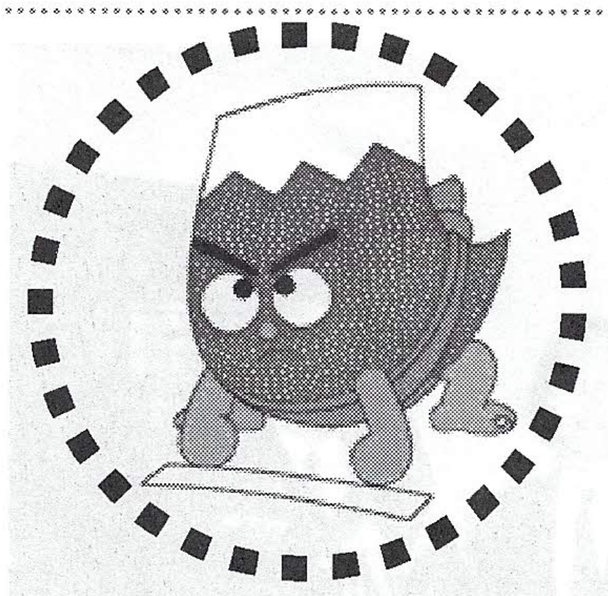
第3回全国障害者スポーツ大会

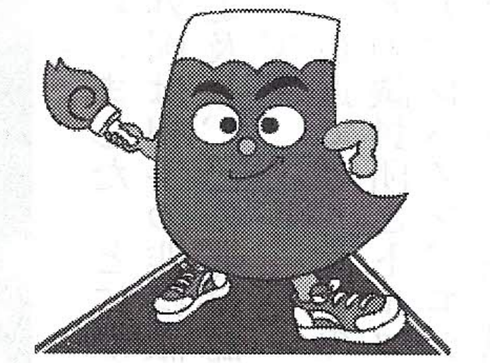
わかふじ大会　十一月八日（土）～十日（月）

第58回国民体育大会が、今年静岡で開催されます。これは昭和三十二年開催以来、静岡県では四十六年ぶり、2回目となるものです。

テーマは「NEW！わかふじ国体」で、2003年「ふじのくに」で21世紀の若々しいパワーがはじけるよう、そして競争と共生の調和、新しい静岡の魅力を創出しようというものです。

スローガンは『〝がんばる〟が好き』です。競技する人も応援する人も、全国から集う友も県内の友も、それぞれに手を取り合い〝がんばる〟そんな、ひたむきな気持ちを表しています。





NEW!! わかふじ国体

マスコット ふじっぴー

そんなわかふじ国体のマスコットが、静岡と言えば富士山「ふじのくに」を表した「ふじっぴー」です。今回の会報にも、静岡からかけつけて、親しく愛嬌をふりまいてもらいました。

夏季大会が9月に、秋季大会が十月、そしてオリンピックと、もうひとつのパラリンピックがあるように、障害者スポーツ大会「わかふじ大会」が十一月に開催されます。競技会場は県内74市町村で行われます。

母校静商からも軟式野球、女子バスケット、水泳などで出場が予定されています。関東から応援に駆けつけましょう。

国会議員の海外派遣にまつわる誤解

参議院第一特別調査室次席調査員
高塚　年明（S42年卒）

参議院に奉職して二十四年が経ちました。当初、財政・金融屋として調査部門に入ったのですが、いつのまにか外交・安全保障屋になっていました。

仕事柄、各国の国会議員が集る国際会議などに同行する機会が多くあります。週刊誌などでは、国会議員の海外派遣に対して、かなり批判的な報道が目立ちます。しかし、誤解の増幅も実に多いのです。そのいくつかをエピソードを含めて紹介します。

旅費・日当で税金を贅沢に使っている？

国会議員もわれわれ職員も特別職国家公務員であり、ランクの違いはあるものの、旅費・日当（食事代・通信費を含む）は国家公務員旅費法の範囲内でしか支給されません。私どもにとり、最悪のケースはパリ、ロンドンに泊まることです。セキュリティーなどを勘案しますと5つ星ランクのホテルが不可欠です。ところが、1泊7万円ということもあります。支給される金額は、最大で国会議員が4万5千円、職員で3万円までです。

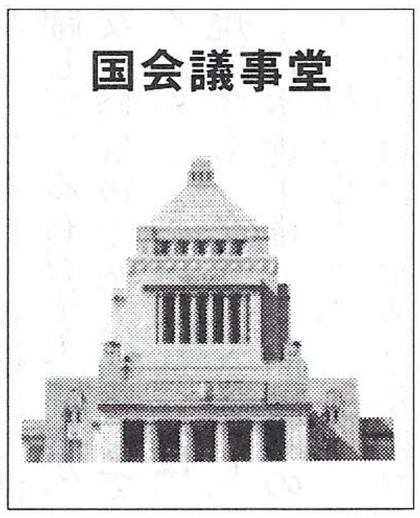
すると差額は持ち出しになります。せめて、職員は別のホテルにしてはという意見もありますが、それでは仕事になりません。また、外国では「どちらにお泊りですか？」と聞かれるケースが多くあります。それは泊まっているホテルによって人をランク付けするからです。

1泊32万円？

2年前、田中真紀子前外相が中国に行ったとき、1泊32万円というホテル代が話題になりました。確かにこうした金額は、常識的には理解できません。ところが、外国の一流ホテルの上階には、エグゼクティブ・フロアーといって、一般客とは区切られたフロアーがあります。VIPや世界の大金持ち専用のフロアーです。国際会議などがあると、そのフロアーのエレベーターを降りたところに、カービン銃を構えた兵隊が十人ぐらいいます。さらに、VIPの部屋の前には2人ずつ24時間体制で、シークレット・サービスが警護しています。1泊の料金は通常フロアーの1・5倍～2倍です。

ところが、中国の場合は特殊なのです。中国外務省、人民解放軍が一枚噛んでいますので、兵隊の警備代なども含まれているのではないかと想像します。

また、途上国の場合外貨を稼ぐためにパリやロンドンの値段で平気に請求してきます。さりとて、日本の大臣だけ一般フロアーというわけにもいかないのです。



豪遊してくる？

国際会議や議会間交流などの公式接待には、必ず主催者による歓迎レセプション、招待客によるリターン（お返しの食事会）そして、エクスカーション（その国が誇る文化財、景勝地の見学）があります。ここだけを捉えて豪遊しているという報道は誤りです。日本でも、外国の賓客が来たときは、必ず歌舞伎を見せ、日光、鎌倉、京都のいずれかに案内しています。ですから、エジプトに行けばピラミッドを見てくるのは礼儀なのです。

また、その国を知るためには大きな市場に出かけるのが一番早いのです。食品、雑貨、お土産、貴金属など何でもあります。そこで議員はよく支持者用にお土産を買います。大量に買うものですから、成田空港に着いたとき、週刊誌の記者に写真を撮られたり「税金使ってお土産買いに！」などと書かれてしまうのです。

スリープ、スマイル、サイレンス？

日本の外交は、議員外交も含めて3S（居眠り（スリープ）、微笑み（マイル）、沈黙（サイレンス））といわれてきました。しかし、いまは違います。

ある会議で、戦前の日本のアジア諸国への侵略が問題になりました。アジア諸国からの批判に加え、欧米諸国もこれに同調しました。昔なら、そこでゴメンナサイしてしまいました。いまでは、われわれスタッフが知恵を出します。

後ろから発言原稿案を議員に渡します。「それでは欧州諸国の三百年に及ぶアジア・アフリカ侵略・支配の歴史はどのように理解したらよいのか」これだけで延々6時間論戦をやってもらいました。とにかく、諸外国は相手の非は徹底的に追及し、己の非は認めないのです。

最近では、昨年の夏、6名の議員団とトルコ、シリア、レバノン、エジプトを回ってきました。首相2名、副首相1名、外相2名、国会議員3名、外交委員長2名、著名な宗教指導者2名らと会談を行ってきました。

国会議員の海外派遣については、改善すべき点もありますが、国民の代表として外国を知ってもらうことは不可欠です。誤った報道も多いこともご理解いただけたと思います。

ゴラン高原PKO日本隊員と

参院調査員・高塚氏（藤枝市出身）が論文

2誌で外交課題指摘

参議院第一特別調査室の次席調査員、高塚年明さん（S42―藤枝市出身）がこのほど「国会月報」「立法と調査」の二誌にそれぞれ「わが国外交の課題」「アフガニスタン和平・復興支援」に関する論文を発表した。

「外交の課題」では、セ○―八〇年代の日本で外交に関する国民レベルでの政策論争の場が形成されなかった背景として「情緒的、観念論的発想に基づいた思考方法のまん延」を指摘。「自由」「平和」といった「価値前提」と現状との距離を測定し、距離を縮める手段を考案して最適政策を導き出すべきーとするノーベル経済学賞受賞者G・ミュルダールの「現実主義的アプローチ」を紹介しながら「すべて合目的な手段を採用するのが望ましい」とは当然だが、「現実世界ではセカンドベストも認めざるを得ず、これを簿化させないようにするのが政治の力」と主張する。

「アフガニスタン和平・復興支援」には和平プロセス、復興プロセスを示したボン、東京両会議を通じアフガン各派と周辺各国の思惑がアフガニスタンの平和と安定を阻害している状況が描かれた。「援助大国としての在り方を問いたかった」と執筆理由を説明している。

「わが国外交の課題」などに関する論文を発表した高塚さん＝参議院第一特別調査室

静岡新聞に掲載されました

定年を迎えて 60 還暦・華甲

S36年卒　高木　英雄

私は2000年1月に六十歳となり勤務先を定年退職しました。この原稿は、3月に同期生との飲み会のおり依頼されうかつにも承諾してしまい、四十数年ぶりに不得意科目だった「作文」に取り組んだものです。

まずこれまでの回顧から入ります。

1961年静岡商業を卒業し、商社へ入社・子会社への転籍を経て本年1月退職した。この四十二年間の職歴・勤務地は次のとおり。

職　歴

経理部門	10年
他社出向	4年
営業部門	9年
他社出向	6年
企画部門	3年
子会社経営	10年

勤務地
東京10年→千葉4年→東京2年→大阪14年→東京9年→静岡2年→千葉1年

思えば、四十二年間実にさまざまなことがあった…。

会社生活のことでは、数々の失敗・反省・失意、そして少しの成功・満足・安堵等の繰り返しであった。営業部門・事業会社時代は当然その部門・会社の黒字化・黒字維持・黒字幅拡大が最大の使命であり唯一無二の目標となる。それゆえに、ことに他社出向と子会社時代の二十年間の過半はほんとうにシンドカッタ。「ヤセ我慢も我慢のうち、カラ元気も元気のうち」と鞭打って「天は自ら助くる者を助く。人事を尽くして天命を待つ」心境の日々が続いた。この間、オイルショックと総需要抑制・プラザ合意とバブル景気・世界規模でのデフレ進行などさまざまな局面に出合った。これらに、ときには痛めつけられ、ときには助けられながら、業績低迷期の失意と焦燥、目標達成時の安堵と満足を繰り返してきた。

いま思い起こせば、たしかにシンドイことツライことも多かったが、変化に富み・刺激の多い・充実した会社生活を過ごすことができたと満足している。これは、時代に恵まれたことと、職場の上司同僚後輩・取引先・友人の皆様と家族のお陰と感謝している。

次に個人の生活のことをふたつ述べる。その1、この四十二年間で体重は56kgから80kgへ・ウエストは76cmから94cmへ見事に変化した。身長は168cmのまま、まだ縮んではいない。

その2、家族からは、夫として親としてさらに子としても及第点は貰えまい。けっして企業戦士を気取っていたつもりは無いが…以下数例をあげる。①新婚旅行から戻った出社初日、日帰り出張の予定が急遽宿泊に変わったこと。さらにその翌日・翌々日は接待で午前様。②妻が私に内緒でパートにでていたことに1年近く気がつかなかった。口止めされていた娘に説得された妻から言われて知った。③かつて娘がポツリとひとこと「小学生のときクリスマスイブに父がいたのは2回だけだった」。④母の危篤時、海外出張中で連絡がとれず死亡を自宅に戻って知った。これは日頃から出張時の連絡先はおろか出張先すら明示してこなかった自業自得。（もっとも連絡がついても時間的に無理ではあったが）。⑤接待および付き合いでの酒・マージャン・ゴルフ・競馬等々。

さて、回顧はこの程度にしておくとして、定年後のこれからが問題である。

数年前から定年後にいろいろ思いをめぐらせてはいたが、まさに「無芸退職」の典型の私である。妙案のないまま定年を迎えてしまい、いまのところ無期限の休養に入っている。

たしかに予想のとおり緊張感・刺激・張りがない毎日である。

岩波の本に、定年後の生き甲斐は「健康・経済的ゆとり・時間的ゆとり・人間的社会的つながり・家族の支え・張りのある生活」とある。この張りのある生活は「趣味・学習・ボランティア・スポーツ」とある。これまでは、いわゆるカキクケコ（感動・興味・工夫・健康・恋だったと思うが）ではないが、すべてが張りのある生活であった。これからは、あらゆる面で定年前とは違うことを良く承知し、私自身の生き甲斐と張り合いを見つけること、そしてそれをつくりあげていくしかない。

まずは、すべてのもとになる身体のために、運動と節酒による減量に着手した。そして、妻からの定年時離婚の申し出では「まだ」ないので、「濡れ落ち葉」にならぬよう心掛けて、焦らずにこれからの生き方を見つけていこうと考えている。

古希を迎えて 70

S27年卒　内野　廣司

古希を迎えた平成十五年二月十六日、恒例の箱根強羅温泉にて同期会新年会を二十八名の参加者を得て行いました。

幹事の関根、藤浪、望月（健）、曽根の四氏のお世話を得て、予定通りスタートしました。宴会、カラオケ&ダンス、雑談などを約5時間楽しく過ごし、午後十一時に終了。翌朝8時の朝食後解散しました。

静岡から幹事田村氏と、第一期卒女性の岩崎さん（副会長）、千々岩（旧姓小池）さん、松岡（旧姓浜辺）さんの3名を含む十三名が出席してくれました。

古希を祝う楽しい一日でした。次にまた逢う日まで

青春（Youth）　サムエル・ウルマン

青春とは人生のある期間ではなく
心の持ち方を言う
薔薇（ばら）の面差（おもざし）し、紅（くれない）の唇、しなやかな手足ではなく
たくましい意志、ゆたかな想像力、燃える情熱をさす
青春とは人生の深い泉の静新さをいう

青春とは臆病（おくびょう）さを退ける勇気
安きにつく気持ちを振り捨てる冒険心を意味する
ときには、20歳の青年よりも60歳の人に青春がある
年を重ねただけでは人は老いない
理想を失うと初めて老いる

（略）

霊感が絶え、精神が皮肉の雪におおわれ
悲歎の氷にとざされるとき
20歳であろうと人は老いる
頭（こうべ）を高く上げ希望の波をとらえる限り
80歳であろうと人は青春にしてやむ

あまり墨

宝（たから）

S29年卒　山田　雅子

忙々と時が流れる。

あまり墨を愉しむゆとりもないまま音をあげ始めていた昨年末、思いがけない依頼が飛び込んできた。

地元小学校の卒業記念品に、私の「書」をというもので、大それたことと固辞したが、数々のご縁で結局お受けすることになった。

何しろ、これからの永い歳月を、校舎の壁面にしがみつく書額であると思っただけで、様々な雑念にとりつかれたが、父兄の用意してくれた文言は「宝物」で

いのちは、あなたの宝物
あなたは、親の宝物
友だちは、一生の宝物

うまい字は書けないが、親が子に託す願いに「気」をこめた。2月末、横幅2メートルの額は小学校に収まった。

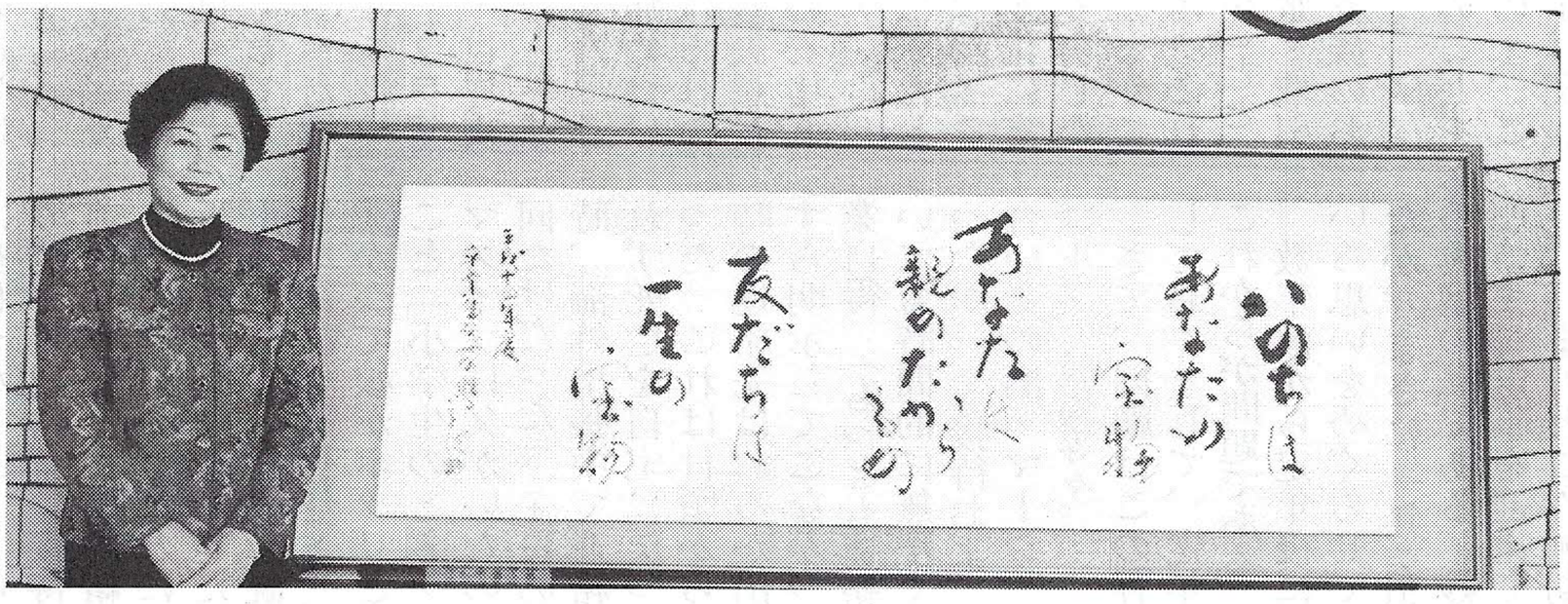
この壁面を行き来する子供達のひとりでも、この言葉に託された親の願いに気づいてくれたら、それは冥利に尽きる幸福な仕事をさせていただいたと感謝した。

三月、桜にはまだ早かったが、早春の奥湯河原と真鶴半島に出掛けた。

真鶴には「中川一政美術館」がある。画家でありながら書に造詣が深く「見観」と書かれた書幅に出会った。

目に見えるものと、心で観ることの極意を武蔵が兵法の中で説いている、とあった。数日後、あまり墨で「見観」と書いてみた。

邪念一杯で〝看れども見えず〟今の私にはとてももものになりそうもない



物（もの）

山田　雅子

漢文漢文ちんぶん
かんぶんかの
望月　健三郎（S29年卒）

禁煙延期
さかさのさかさ

つまらない宵なら待つ
くだらない恋なら抱く
たまらない愛なら また

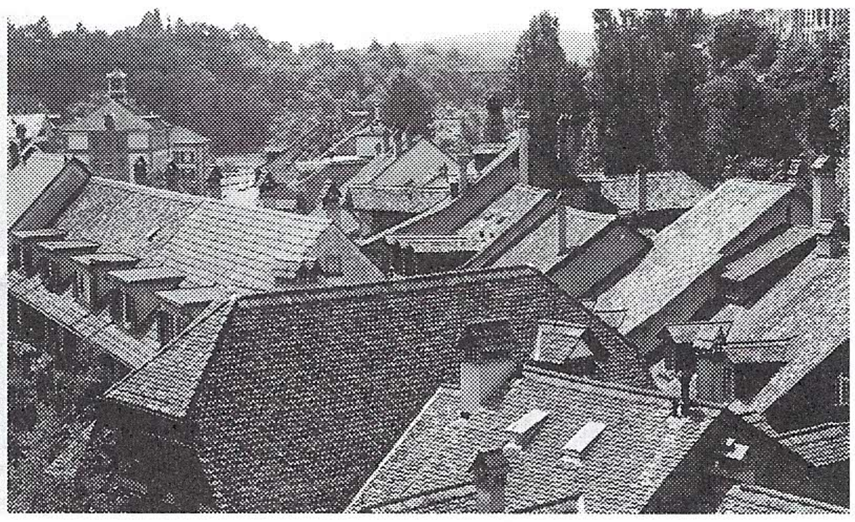
岸の谷さまよい恋し香る春
おかしい恋よまさに楽しき
詩にさかさ得意
俳句とさかさにし
悲しみの今朝も夜も酒呑みし仲

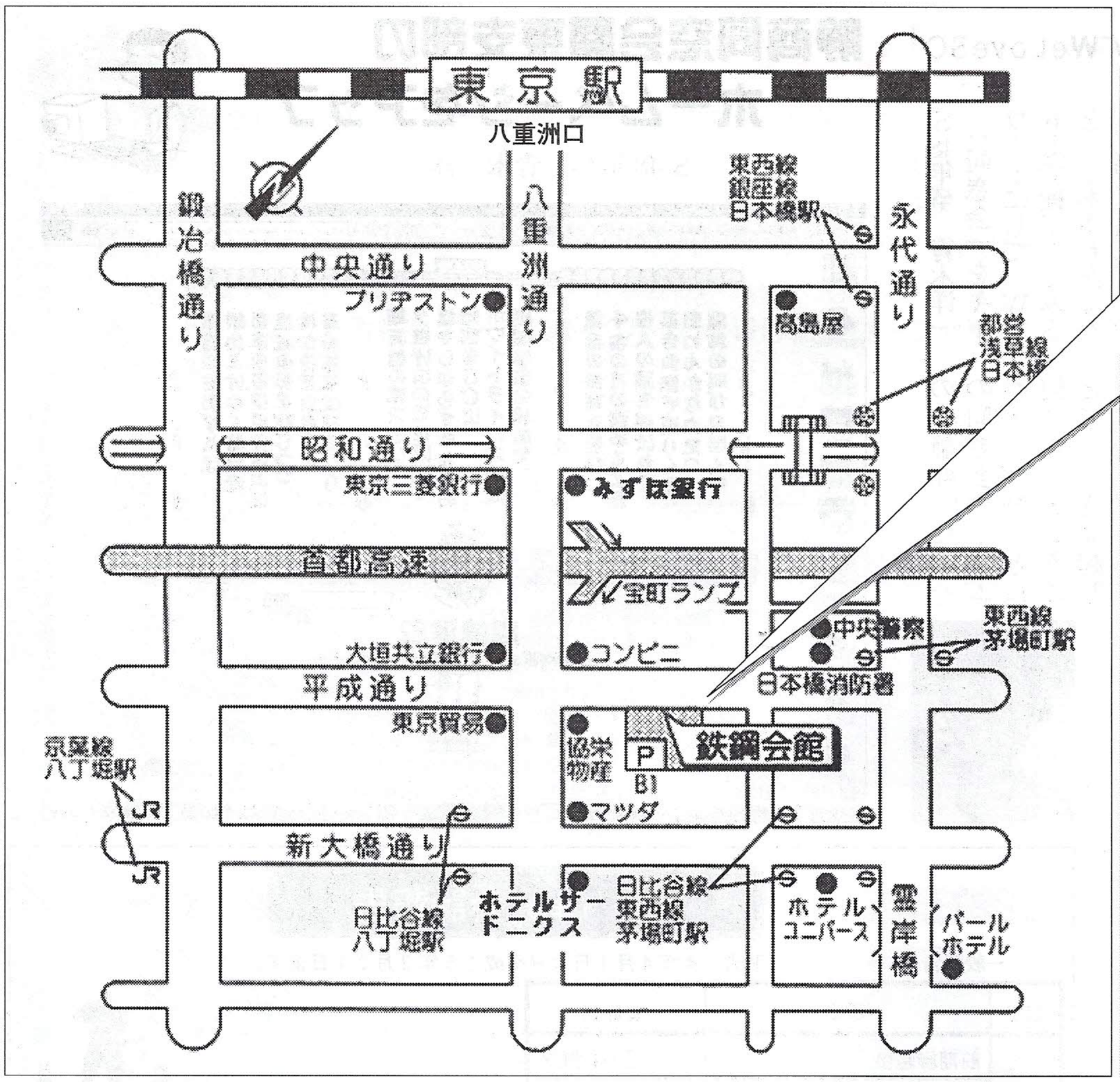
風景

写真撮影　薮崎　久仁子（S36年卒）

昨年は、故郷静岡で個展を開くことが出来ました。北欧で撮影した「白夜の犬ぞり」の写真は、そのとき入口に展示したものです。

もう一枚はスイスのベルンを旅して写したものです。後期ゴシック建築の教会、建物の旧市街、石畳、馬車、トロリーバス、自動車が時代を超えた市民生活の一部になっています。古いものも壊さずに、連なる屋根も統一感があって美しい。





年に一度の「静商同窓会」7月12日（土）「鉄鋼会館」へ GO！GO！

交通ご案内

東西線ご利用の方は茅場町駅下車、12番出口（日本橋消防署方面）

日比谷線・茅場町駅ご利用の場合は1番出口（八丁堀方面）、八丁堀駅ご利用の場合はA5番出口（八丁堀交差点方面）をご利用ください。

ＪＲ東京駅八重洲中央口から徒歩で約15分（八重洲通り）

平成十五年度 静商同窓会 関東支部

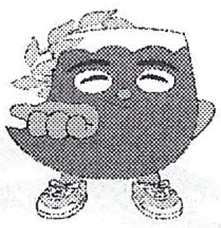
総会・懇親会のご案内

■日　時　七月十二日（土）午後二時から
（受付　午後一時三十分から）

■会　場　鉄鋼会館（地図別掲）
東京都中央区日本橋茅場町3-2-10
電話　03（3696）4856

■総　会
①役員改選
②平成十四年度会計報告および監査報告
③平成十五年度予算審議

●懇親会
われら母校の「大エース」新浦寿夫氏との対談
ハワイアンバンド演奏
「根本昭と湘南カイブリーズ」
ラッキーナンバー抽選会
「飲んで・食べてコーナー」
静岡新茶・ポップコーン
黒はんぺん・桜えび
郷土のお土産即売会　静岡新茶・わさび漬け

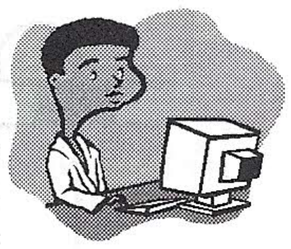


▼会　費
（年会費）＋（懇親会費）
女性　2千円　＋　6千円　＝　8千円
男性　2千円　＋　8千円　＝　1万円
卒業後4年目までの方は無料ご招待

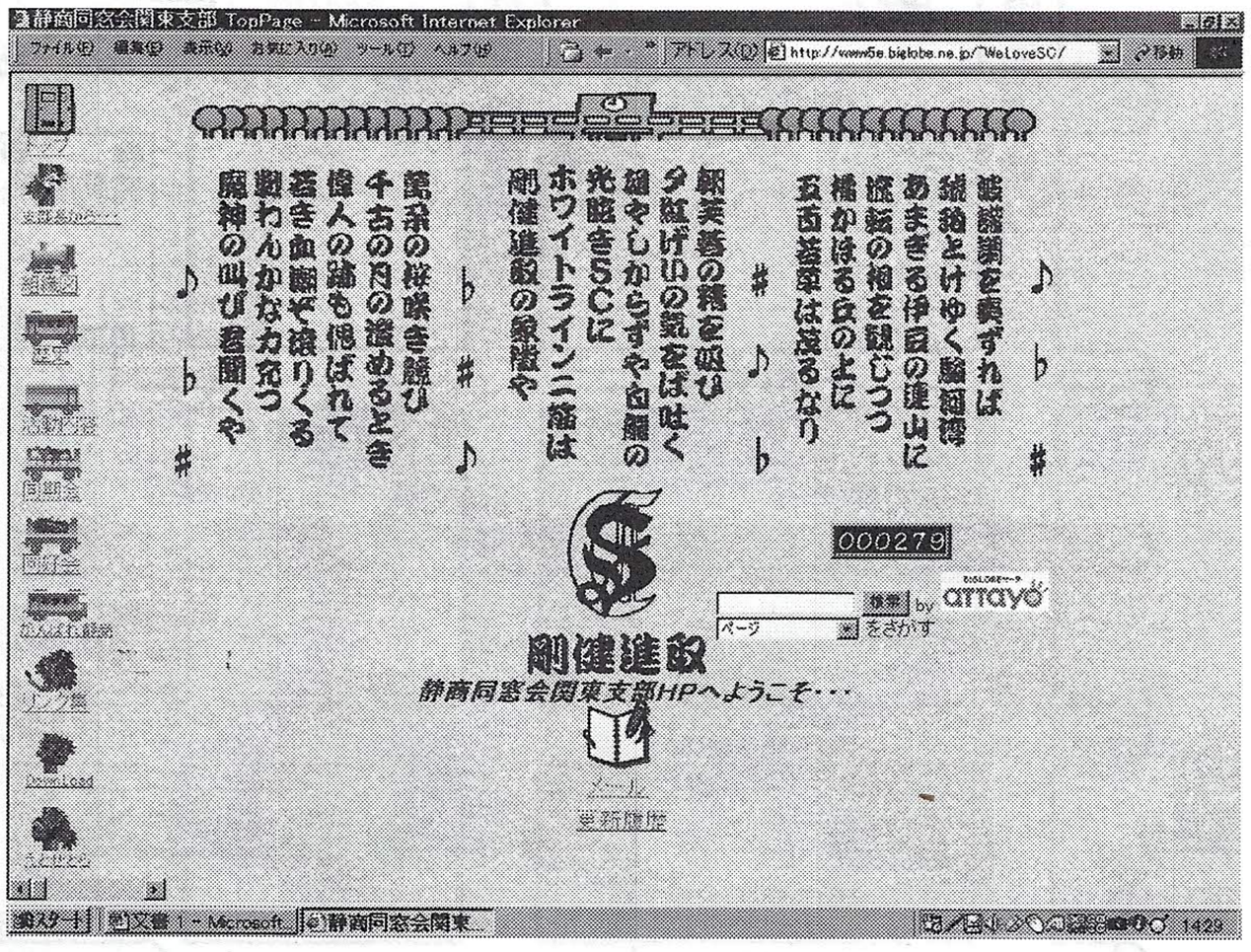
出欠のハガキ（同封）を**6/30（月）**までに必ず投函してください。
残念ながら、今回出席できない方は**年会費2000円**を同封の**振替用紙にて納入**ください。

本年度の懇親会運営は、S35・45・55年度卒業の皆さんが担当します。

静商同窓会関東支部のホームページをアップ



S 48年卒　青木　洋一



http://www5e.biglobe.ne.jp/~WeLoveSC

S48年卒　青木洋一

「同窓会」をキーワードにして、Web上で検索してみると……あるわあるわ「静高」「市商」「常葉」…

でも無い！？「静商」の同窓会ホームページが無いのです。

昭和四十六年に公立高校としては、全国ではじめて「情報処理科」を開設し、情報処理の教育の先端をいっていたはずの「静商」に、その同窓会のホームページが無いとは何事だ。ということで、一念発起した次第であります。

「ホームページ・ビルダー」というソフトを使って独力で作ってみました。まずは早く立ち上げることを優先し、めでたく正月早々の1月6日に開設しました。

まだ、工事中のページが多いのですが、皆さまのご協力を得て、徐々にバージョンアップしていきたいと思います。どしどし、このホームページにアクセスしてください。

何事もそうでありますが、「始める事」より「続ける事」の方が困難です。ホームページの制作・運営には、プロジェクトチームのようなものが必要です。皆様のご協力とご理解をお願いいたします。

現在アップされている内容

- ■支部長からのメッセージ
- ■組織図（関東支部の組織）
- ■歴史（発足からこれまでの歩み）
- ■活動内容（総会・懇親会の様子）
- ■同好会（カラオケ同好会の活動）
- ■がんばれ静商（応援部会レポート）
- ■リンク集（母校・静岡県サイトへ）
- ■えとせとら

会務報告

平成十四年度会務報告及び十五年度計画

☆事務局よりの報告

【平成十四年度】

①役員会
幹事会2回
常任幹事会5回開催

②同窓会入会式
平成十四年二月二八日
新入会員 計二八四名
（内 関東地区への居住予定者五一名）

当日関東支部会報第十一号を卒業生全員に配布

③本部役員会等への出席
本部会合に支部長及びその代理として副支部長が出席

④総会案内
発送一四五八通（出席一六六・欠席二五三・返信ナシ九七〇）

【平成十五年度予定】

①役員会
幹事会2回
常任幹事会5回の予定

平成１４年度 会計報告

1．一般報告　（平成１４年４月１日より平成１５年３月３１日まで）

区分	項目		実算額
収入の部	前期繰越金		324,902
	本年度収入	本年度総会会費	1,292,000
		年会費	584,000
		寄付金	460,000
		会報広告収入	170,000
		総会売上金	18,000
		預金利息など	380
		小　計	2,524,380
	合　計		2,849,282
支出の部	本年度支出	本年度総会費用	1,350,095
		会報発行費	433,221
		専門部会活動費	71,503
		会議費	280,228
		運営諸経費	49,040
		小　計	2,184,087
	支部基金に組入れ		200,000
	次期繰越金		465,196
	合　計		2,849,283

2．基金合計

項　目	金　額
支部基金	4,500,000

3．財産目録（平成１５年３月３１日現在）

項　目	金　額
銀行預金	466,195
郵便貯金	4,500,000
合　計	4,966,195

上記の通りご報告申し上げます。

平成１５年４月１９日　静商同窓会関東支部　会計　鈴木 啓輔　印

平成１４年度 会計監査報告

監査の結果、上記報告に相違なく、適正である事を認めます。

平成１５年４月１９日　静商同窓会関東支部　会計監査　成川 貞夫　印

会計監査　富田 修一　印

静高に完封負け 守備に課題を残す

野球定期戦観戦記

応援部会
長谷川　勉（S 31年卒）

静高VS静商定期戦ポスター

第45回静商VS静高の野球定期戦が、雨で1日順延された4月27日（日）に新緑の静岡草薙球場で行われた。開会式に先立ち、本年の主管校である静岡高校が創立125周年記念で作った新応援歌「賛歌」が、静高・静商両校ブラスバンド部の合同演奏で披露された。

開会式で挨拶に立った生徒会の代表が、夏の大会の決勝戦での再対戦を期待していると両校選手を激励した。そして母校の岡田修二校長の始球式でプレイボールとなった。静岡県高等学校野球連盟会長でもある校長は快速球のストライク投げ、3300人観衆の喝采を受け球場の雰囲気が盛り上がった。

試合結果は残念ながら3対0で敗れた。これで3年連続しての敗退となり通算成績は静高の28勝17敗とその差は拡大した。試合経過は2回の2失点だけの投手戦で回が進んだ。8回の静高の駄目押し点で大勢が決したように思えたが、先発の大沼投手は3回で5三振を奪う力投であったし、リリーフの増田投手も4回をノーヒットに押さえた。一方、静高先発の鶴田投手は最速140キロを越す速球で3回をパーフェクトに押さえ、川口、増井の両投手も完璧な投球内容で母校につけいるすきを与えなかった。結局、好投の投手陣を打線が援護できず散発2安打の零敗に終わり、4失策のミスが失点に絡んだ試合という結果になった。

「両校はスタンドの応援でもしのぎを削った。静高が新応援歌"賛歌"も交え、オーソドックスなスタイルで声援を送ると、静商はリズミカルな曲や踊りを披露し、華やかさで選手達を励ました」と静岡新聞は応援合戦を報じた。母校の応援風景のシャッターチャンスを狙い静高側で相手の応援を観ていたが、整然とした素晴らしい応援で好感が持てた。

> Seisho's heroes, Fight to the last, Fight to the finish Never give'n, la la la

応援歌第三のメロディーが心地よく響く。応援合戦はひいき目ではあるが母校の判定勝としておこう。

野球定期戦の観戦記を会報に掲載したいという広報部会の意向を受けた時、今回は気持ちよく記事を書くことが出来ると意気込んでいた。それは、昨年の秋季大会で24年ぶりにベスト4に躍進した実績と、春の選抜高校野球大会に出場できる21世紀枠の静岡県推薦校になる等の戦力アップがあり、それを裏付けるように今春の練習試合でも、慶応高校・東海大甲府・東海大望洋（千葉県）・八千代松陰（千葉県）・東京農大三校（埼玉県）などの有力校に勝ち、夏の甲子園大会の前哨戦となる春季大会中部地区予選でもベスト4に進出、8年ぶりの県大会進出を果たすなどの好材料で、互角の試合を観ることが出来ると確信していたからである。

対戦相手の静高は春季大会地区予選でまさかの初戦敗退となったが、全国クラスの有力校を含めた練習試合で9戦全勝するなど、実力は中部地区No1と見られていたので、定期戦の試合結果は予想外という訳ではないが残念でならない。地区大会で敗れた静高は夏に向けての取り組みの中で、静商との定期戦を緊張感を持続させる数少ない試合と位置付け、全力で試合に臨んだ。（地区大会敗退時の監督談話）

一方母校は、春季県大会を直前に控え、投手の調整面で難しい対応を迫られていた。

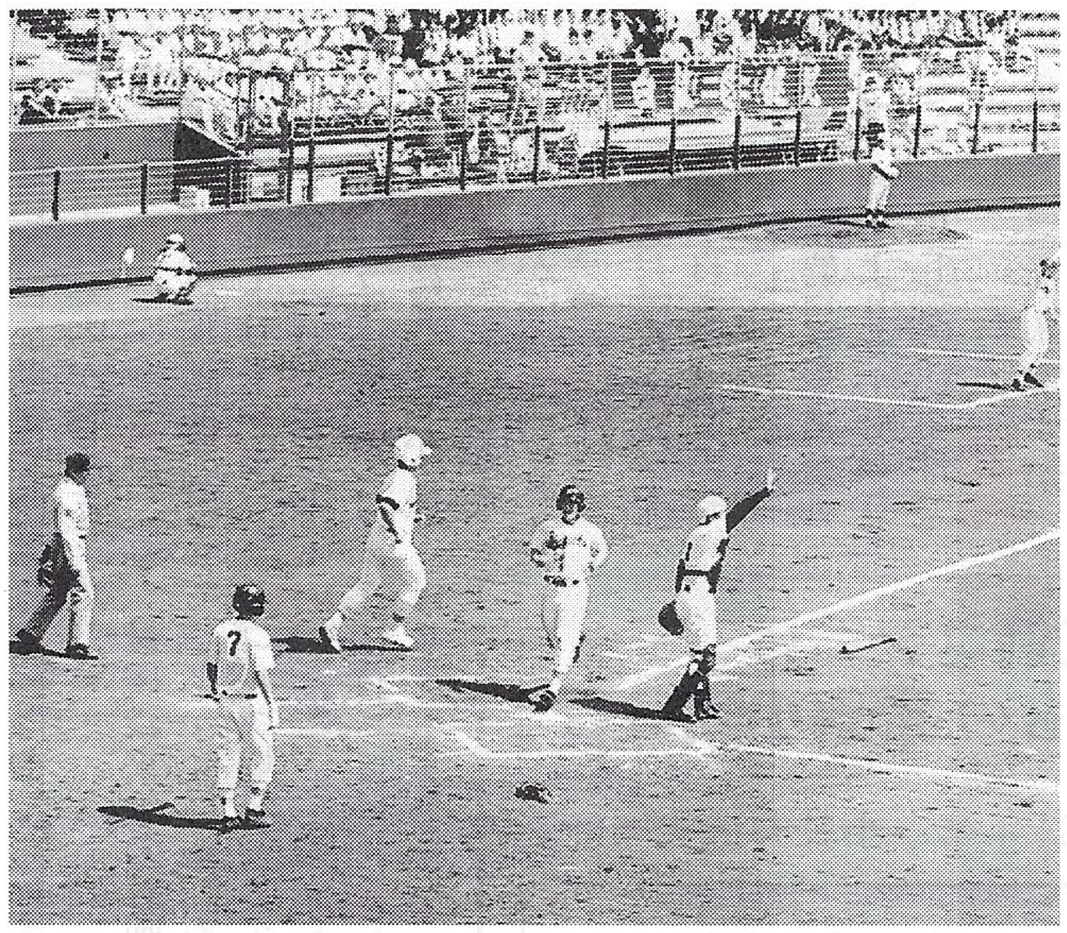
初戦突破による夏季大会のシード権確保にウエイトを置かざるを得ない事情があった。

このようなマイナス要因があったとはいえ、結果的に完敗の試合内容を記事にすることは何とも気の重い作業となった。県大会初戦の加藤学園は、好投手を擁する東部地区の有力校であるがこれに勝ちシード権を確保できれば、定期戦の苦戦が良薬になったと書けると目論んでいた。それも9対5で敗れ文章を構成する上で大きな支障となってしまった。しかもその内容が悪すぎたのである。昨年の練習試合で大勝している相手に対し失策9、暴投2、野戦1を記録、今まで経験したことの無い最悪の結果となってしまった。

久しぶりのシード権獲得が大きなプレッシャーとなったことと、定期戦での守備の乱れを意識する余り、これが選手を萎縮させる結果になったとしか思えない乱れであった。

ネット裏で毎日練習を見ている熱心なファンもさすがに落胆し肩を落とした。チームを早い機会に軌道に乗せ、夏の大会に万全を期してほしいものだ。

定期戦の帰路に応援団の女生徒に感想を求めたところ、「選手達が一生懸命プレーしていてカッコよかった」と笑顔で答えてくれた。勝負にこだわらない高校野球の原点に触れたような気がした。今年は関東遠征の試合数が多い。余程の事情がない限り全試合を観戦する計画をたてている。ここで関東支部の総意としての部活動支援を行う予定である。



静岡新聞2003年4月28日掲載

静高応援席から撮影した静商応援席

ゴルフ同好会

平成十四年度 春季コンペ

春は毎年
場所を変えて
今年は
笠間CC
ザ・レイクス

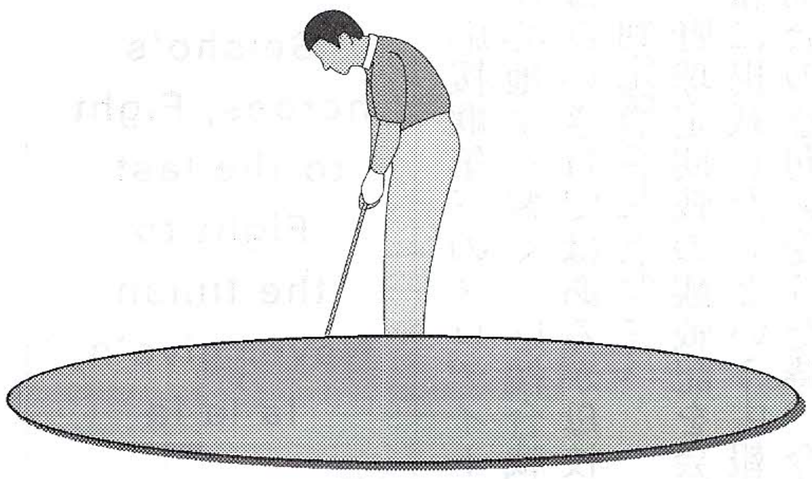
お池にはまって さぁ大変！ 池ポチャ！

S30年卒 望月 昌房

同好会ゴルフコンペの定例会は、毎年の秋の十月に栃木県那須小川GCで開催するのが決まっていますが、春季コンペは、平成十年より毎年場所も変えて実施しています。

最初は、千葉県のスカイウェイCC、次に御殿場のタイヘイヨウウエスト、同年茨城県のセゴビアGCインチヨダ、昨年は静岡県富士市の大富士GCと転戦してまいりました。

今年はどこだろうと、楽しみにしていました。たまには海外も良いのではないかと考えていました。海外といえば、通いつけの歯医者の待ち時間に、それとなくゴルフ雑誌をめくっていると、あるシニアプロが「中国雲南省の昆明ゴルフ場が、海抜1500メートルで、緯度は台湾と変わらず、温暖で空気も澄み、気圧の関係でボールもよく飛び、成田からの直行便もあり、大変にお勧めです」という記事を見てから、数ヵ月後、広州、桂林、昆明のツアーに参加する機会に恵まれ、昆明から石林見物に行く途中で、そのゴルフ場の脇を通り、バスの車窓からそこを見下ろしたところ、芝は青々としていて、ヘアウェイの幅が驚くほど広い、おまけに各ホールともフラットでした。ツアーガイドの話でも、日本からの客が非常に多いとのことでした。私も一度やってみようと思いましたが、もし事故にでもあったら、日本の領事館は当てにならないしなどと、つまらないことを考えていると、今年の案内が参りました。



春季コンペ成績表

順位	名前	OUT	IN	TOTAL	HDCP	NET	賞
1	知光　敬矩	45	42	87	13.2	73.8	ﾍﾞｽｸﾞﾛ、DC、NP
2	高山　康明	45	50	95	20.4	74.6	大波、DC，NP
3	堤　正義	48	46	94	19.2	74.8	
4	曽我　和義	45	49	94	18.0	76.0	
5	望月　昌房	53	55	108	31.2	76.8	
6	塩沢　金夫	43	45	88	10.8	77.2	
7	上山　富義	51	52	103	25.2	77.8	小波
8	磯部　信雄	53	49	102	24.0	78.0	NP
9	小長井武夫	52	50	102	24.0	78.0	NP
10	織部　忠義	47	46	93	14.4	78.6	
11	村上　恵作	55	56	111	32.4	78.6	
12	中畑　稔	47	47	94	14.4	79.6	
13	大森　泰次	59	56	115	27.6	87.4	BB
14	甲田　安太郎	58	62	120	32.4	87.6	BM

今年は、茨城県の陶器の町笠間市のカントリークラブ「ザ・レイクス」で、五月十四日でした。今年は梅雨のはしりで、五月に入ってから、すっきりした天気の日がなく、前日も雨が降っていました。ところが、当日は打って変わっての五月晴れの良い天候で、成績不良をお天気のせいにはできないほどでした。交通の便も常磐自動車道を利用して、都心より九十分余りのところで申し分ない条件です。

さて、コースですが、ザ・レイクスの名の通り、各コースに池がクロスしたり、グリーンをガードしたりしていて、ボールがなくなってしまうのではないかと心配しました。案の定、ボールが素直に飛ばない小生は、ラウンドの半分が池ポチャでした。

終了後のパーティーも、話題が豊富で、自慢話や反省の弁などで楽しいひと時を過ごしました。自慢話では、18ホール中9ホールをワンパットでプレーした方がいました。その方にパットのコツをお伺いしたところ「私は足が短いので、ボールが近くに見え、正確にパットが打てるのです」とのこと、小生も足は短いのになぜだろうかと思ったが、胴が長いので駄目なのかと、つまらないことを考えていると、今年の案内が参りました。

今年は、茨城県の陶器の町笠間市のカントリークラブ「ザ・レイクス」で、五月十四日でした。今年は梅雨のはしりで、五月に入ってから、すっきりした天気の日がなく、前日も雨が降っていました。ところが、当日は打って変わっての五月晴れの良い天候で、成績不良をお天気のせいにはできないほどでした。交通の便も常磐自動車道を利用して、都心より九十分余りのところで申し分ない条件です。

さて、コースですが、ザ・レイクスの名の通り、各コースに池がクロスしたり、グリーンをガードしたりしていて、ボールがなくなってしまうのではないかと心配しました。案の定、ボールが素直に飛ばない小生は、ラウンドの半分が池ポチャでした。

終了後のパーティーも、話題が豊富で、自慢話や反省の弁などで楽しいひと時を過ごしました。自慢話では、18ホール中9ホールをワンパットでプレーした方がいました。その方にパットのコツをお伺いしたところ「私は足が短いので、ボールが近くに見え、正確にパットが打てるのです」とのこと、小生も足は短いのになぜだろうかと思ったが、胴が長いので駄目なのかと、変な納得をしてしまいました。

最後に来年の計画について「私が会計顧問をしているゴルフ場を使ってください」「仕事で毎年インドネシアに行っているから、今度はインドネシアでやろう」とか、いろいろな意見が出ましたので、「次はどこだろう？」と今から楽しみです。何はともあれ、今日は楽しい一日でした。皆さんもぜひ参加して、青空の下、元気に和気藹々と、楽しもうではありませんか。

秋季定例コンペは、いつもの 那須小川GC

S 34年卒　小長井武夫

寄高尓夫球定例会
同好会集那須天
春花秋月結交親
追球越野復読芝
白龍健児在眼前

望月健三郎　作

ゴルフ同好会の秋季例会は、十月三日（木）に恒例により那須小川ゴルフクラブ・クイーンコースで行われました。この時期にしては穏やかで暖かな日和に恵まれました。

恒例の前夜祭には、8名が集まり、近隣の紫塚ゴルフ倶楽部で、お風呂と夕食をとることになりました。お風呂は地下1300mからくみ上げていて、塩素イオン、ナトリウムイオンが豊富な、神経痛、筋肉痛、関節炎、五十肩、運動麻痺などに効能がある。年齢を重ねてきたメンバーには、プレー後にも入浴できればというようなお風呂でした。湯上りには、焼肉をベースに、ビール・焼酎・酒・ワインの何でもありの宴会となりました。お酒の量が増すほどに、青春時代の話に花が咲き、時の過ぎるのも、明日がゴルフ本番だということも忘れて、楽しい前夜祭になりました。

さて、肝心のゴルフですが、当日電車で来られた12名を加え「ゴルフは俺に任せておけ」と思っている（？）20人の精鋭により、午前9時36分に、支部長杯争奪戦の火ぶたがきって落とされました。

↖

柔道部合宿参戦記

【青春回顧録】　S48年卒　青木　洋一

お酒は温めの燗がいい…、肴はあぶったイカでいい…

平成十四年八月十一日、その日は暑かった。静岡のそれも田町の七丁目は特に暑かった。

二月に行ったS47・48・49卒業生、柔道部OB会による夏季合宿参加の企画は、静岡弁で言うところのオダを食ったものであった。部長の須田先生に挨拶をすませると全員久しぶりの柔道着に袖を通した…いっつあしょーたーいむ…はやる気持を押さえ、まずは柔軟体操…おっ、思ったより柔らかい。次に受身…青畳の感触が何とも心地よい…いけるかも…つぎに打ち込み（技の反復練習の事です）背負い投げ十本で息が切れた。OB特権（専門用語で疲れたら休む。又は、激は飛ばすが自分では何もしない事）を使うしかないなと思いながら、一年後輩を相手に寝技の乱取りへ。一本目、負け。二本目、負け。おかしい。三本目、相手の奥襟を左手で取りに行った時、「パキッ」っと鈍い音が聞こえたような気がした。

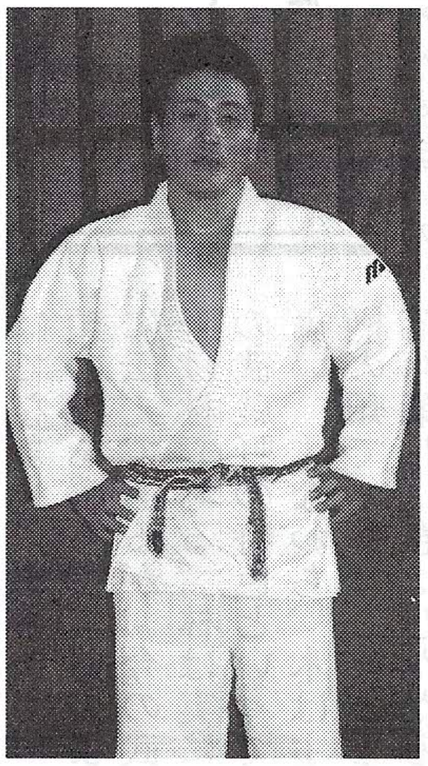
翌日、北品川のある病院のレントゲン室で「あーっ、折れてるーぅ」

げーむいずおーばー…イテテッ！

そして四八歳の夏は終わった。

この合宿を機にOB会としての交流が盛んになりました。今年は参加できるか微妙なところですが、それなりの準備をして是非、またチャレンジしたいと思っています。

かつとおもうな、おもえばまけよ♪



骨が折れました！

↙また、当会の世話役知光さん（S27年卒）のご尽力で、那須小川ゴルフクラブのオープンコンペにも参加でき、賞品が二重にいただけることもあって、全員の闘志もいやが上にもわいてきました。

だからといって、各人のスコアーが良かったかといいますと、ゴルフは正直なもので、日ごろの努力が垣間見られた方もいましたが、どなたもコースに出る前に思っていたようにはいかなかったようです。

残念ながら、成川先輩が前半でリタイアしたため、支部長杯争奪は19人により行われました。結果は別表の通り、優勝堤さん、ベストグロス賞は高山さんと、取るべき人が取りました。

もう一方のオープンコンペでは、磯部さんの優勝（賞品はゴルフバッグ）を筆頭に、久保先輩が準優勝（賞品同じくゴルフバッグ）、参加者全員が何らかの賞品を獲得できて、留守宅への良い土産ができました。

表彰式の後は懇親会に入り、参加者全員が「本日の反省」「言い訳」「今後の抱負」を語り、楽しい満足な一日でした。

この会に参加して、毎回感ずることですが、当同好会の誇りは先輩後輩が和気藹々（あいあい）にプレーすることです。甲田（S13年卒）、久保（S20年卒）の両大先輩の元気で溌剌（はつらつ）としたプレーには感動します。これからもますます元気なプレーを、私たちに見せていただきたいと思っています。

また、井上さん（S31年卒）も熱海から遠路かけつけてくれました。ありがとうございました。

まだこの会に参加したことの無い方、これから会員になろうと思っている方、ぜひこの次は参加してください。大勢の参加をお待ちしています。

今年の定例コンペは
十月五日（日）
那須小川GCで

秋季コンペ成績表

順位	名前	OUT	IN	TOTAL	HDCP	NET	賞
1	堤　正義	46	42	88	14.4	73.6	
2	磯部　信雄	50	46	96	20.4	75.6	DC、番外優勝
3	高山　房之	43	40	83	7.2	75.8	ﾍﾞｽｸﾞﾛ、DC2
4	上山　富義	51	46	97	20.4	76.6	DC、NP
5	戸井　政広	47	43	90	13.2	76.8	
6	知光　敬矩	45	44	89	12.0	77.0	
7	望月健三郎	51	53	104	26.4	77.6	
8	井上　孝信	53	51	104	26.4	77.6	
9	小長井武夫	49	43	92	14.4	77.6	
10	織部　忠義	44	46	90	12.0	78.0	
11	海野　昭	57	54	111	32.4	78.6	
12	久保　弥六	51	50	101	21.6	79.4	番外準優勝
13	村上　恵作	54	48	102	21.6	80.4	NP
14	望月　昌房	61	57	118	36.0	82.0	
15	紅林　勲	48	63	111	28.8	82.2	
16	勝亦　常夫	56	55	111	27.6	83.4	NP
17	曽我　和善	55	47	102	18.0	84.0	
18	大森　泰次	58	51	109	21.6	87.4	
19	甲田安太郎	63	77	140	33.6	106.4	
棄権	成川　貞夫						

武蔵野で バーベキューを楽しむ

S31年卒　渡辺　忠章

昨日から降り続いていた秋雨もあがった十月も半ばすぎ、ここ深大寺に集まった「歩く会」十余名。

実は時間間際に着いた私は気がついたときには、なぜか別のグループにいた。静商の歩く会に比べると、品良く物静かだったので、おかしいなとは感じたが、ガイドの上手な説明に聞き惚れて歩き出したのが間違いだった。

幸い出発寸前に気がつき、滑り込みセーフ。

さて、曇天ではあったが歩く会のメンバーは、生気はつらつ武蔵野公園を目指し出発！　自家用車（頑丈な荷台付チャリンコ）にまたがった信頼厚き望月副会長のガイドで、グループはテクテクと後に続く。

住宅街を通り抜けて、すぐ野川にでた。小川の風情が残り、どこか懐かしく、可愛らしい川で、その両岸を被った野草の緑が印象的だ。パンフレットには、武蔵野段丘に降った雨水が湧き出して合流した川で、地元では「ハケ」とよぶとある。その野川に沿って、心地よくウォーキングが続く。やがて野川と別れ、少し行くと、静かなたたずまいの龍源寺に着く。あの新撰組隊長・近藤勇の菩提寺で、本堂の左側を進むと、供えた花の目立つ墓があった。石碑には「鳥羽伏見の戦いで幕府軍敗退後、官軍と甲斐勝沼で戦うが敗走。下総流山で降伏し捕らわれた時、大久保大和と名乗るが、近藤勇であることを見破られ、板橋庚申塚の刑場で斬られ、首は京都三条河原にさらされた」とある。（一部補足）歩く会のメンバーは近藤勇の墓前で合掌。

寺を出ると、すぐ広々とした芝生に被われた野川公園が眼前に展開。木立と芝生のコントラストが美しく、湿った落ち葉でふんわりとして柔らかな地面の感触も心地よく、静寂な雰囲気に包まれて、安らぎを覚える一時だ。

ほどなく、野川公園を抜けると、目的地・武蔵野公園に着く。深大寺を発ってから一時間半くらいは歩いただろうか。ところで、武蔵野といえば国木田独歩の「武蔵野」に、次の一節が出てくる。

「昔の武蔵野は萱原（かやばら）のはてなき光景をもって、絶類の美を鳴らしていたように伝えてあるが、今の武蔵野は林である。林は実に今の武蔵野の特色といってもよい。すなわち、木は主に楢の類で、冬はことごとく落ち葉し、春はしたたるばかりの新緑萌えいずるその変化が……」とある。いずれにしても、この辺りは木立ちと緑が多く静かなのが良い。

歩く会
ヘルシーよりも　バーベキュー

さて、歩く会の一行は、**ちいっとかんだるく**なってきたころ、ちょうど昼だ。歩く会のゴールデンメンバー十四人は、こんもりと繁った林の広場の一角に腰を下ろす。今日のメインイベント「武蔵野の林のバーベキュー」は、チームワークよろしく先発隊の古井先輩（S30年卒）および関塚（S40年卒）、秋山（S35年卒）、松浦（S41年卒）の女性の方々が準備バッチリで、後発メンバーが着いたころには、即スタンバイ・OKであった。

早速、成川会長（S27年卒）の音頭で乾杯。古井先輩の特製焼鳥、女性メンバーの手料理なる豚汁など、**たんと**作った**もんで、ほてっぱら**舌鼓をうった。飲むほどに、食うほどに、ガヤガヤ談論風発、意気軒昂な歩く会のパーティーとなった。

時計も三時を回ったころ、森林浴とビール浴と、よく欲張った歩く会の一行は、長谷川（S31年卒）コンダクターの音頭で、静商校歌を高吟、その雄叫びは武蔵野の森にこだまして、三々五々散会した。

歩く会　ヘルシーよりも　バーベキュー

同窓会の皆さんへ

「**おまっちも**静商出たずら、たまにゃあ「歩く会」に、**ちょっくらいかずによう**」

小江戸・川越の散策

S27年卒　池田　博之

♪通りゃんせ　通りゃんせ
ここはどこの細道じゃ
小江戸と申す細道じゃ
のんびり通して下しゃんせ
車はお控えなさらんか
昔の面影いつまでも
健やかなれよと参ります
行きは良いよい帰りも楽し
時は流れど
通りゃんせ　通りゃんせ♪

天気晴朗なれどやや寒し。翌日は降雨。ツイテイマシタネ。正月二十六日大安。私は西武新宿線のガラガラ電車に乗っていた。所沢を過ぎて左側の車窓から、青空を背に真っ白な富士山の雄姿が目に入った。我孫子から見るよりもひと回り大きく実に素晴らしい眺めだった。

どこであれ　富士
見るたびに　癒されり

歩く会は今年の歩き初めとして、小江戸とよばれる川越（集合場所本川越駅）とした。私は初めての場所なので余裕をもって早めに着いた。まず、一年先輩の天野様を見つけた。その後、電車が着くたびに静商健児の笑顔が見えてきた。参加者十四名は駅前から約六キロのコース（中院―仙波東照宮―喜多院―三芳野神社―川越城本丸御殿―市立博物館―氷川神社―菓子屋横丁―一番街通り）を歩きはじめた。

中院（喜多院と同じ天台宗）は以前仏地院といわれた檀林（仏教の学問所）で、喜多院と南院（廃寺）の中間にあったという。寺には川越の地誌を書いた大陽寺盛胤（たいようじもりたね）一族、また島崎藤村の義母の墓がある。春と秋は庭園が美しいそうだ。

仙波東照宮は日光・久能山と並ぶ三大東照宮の一つで、家康が久能山に葬られたあと、遺言により日光へ改葬されるが、喜多院で四日間の大法要が営まれたことで仙波東照宮が建てられたという。一六三八年の川越大火で喜多院と同時に焼失したが、いち早く家光は命を出し、江戸城にある空宮を移築して、翌年に再建完成させた。喜多院には江戸城の別殿を移築したほか付随の建物も相次いで再建している。

川越も　権現様の
威光満つ

喜多院は五百羅漢やダルマ市でも有名で、大勢の参拝客とともに喜び多い年を祈った。静商歩く会は、鳩の飛び交う多宝塔の前で写真をパチリ！

喜多多宝平和を守る善男女

喜多多宝平和を祈る　善男女
呑ん兵衛の五百羅漢　もおわします

早春の城ヶ島を巡る

雨はふるふる城ヶ島の磯に 利休ねずみの雨がふる

S 30年卒　望月　秀雄

二月十六日、京急品川駅午前九時〇五分発の快速電車で出発した。

昨日までのうららかな陽気が一変して、今朝はどんよりとした曇り空で、いまにも降り出しそうな空模様でした。集合予定地の三崎口駅に、何人来ているかと心配しながら出かけました。それでも、海野支部長、長谷川さん、鈴木さん、原木さんご夫妻と、5名の方々が集まっていました。私を含め総勢6名です。

その頃には、とうとう冷たい雨が落ちてきましたが、皆さん傘をさしても出かけようということで、バスに乗り込み城ヶ島へ出発しました。

平常なら、渋滞する道路ですが、今日は快調に飛ばして二十分足らずで、城ヶ島大橋を渡り、「白秋碑」前で下車し、いよいよここから歩く会のはじまりです。

まず、島の東側にある「安房崎」を目指すべく岩の海岸へ出た。ここからは岸壁沿いにスリルのある波打ち際の散策がはじまるところですが、何と現在は倒木や落石の危険があるので、工事中で、通行禁止とのこと。やむなく、予定を変更して、山越えで県立城ヶ島公園を通過して、展望台から天然記念物の「ウミウ」が数多く休んでいる景色を遠望し、小笹の繁る緑の小道を進んで、大きな穴のあいた奇岩の「馬の瀬洞門」へ出ました。

ここからは、波形の岩場や貝殻まじりの砂浜が大きく開け、空高く鳶が舞い、向こう側の岩場では磯釣りのグループが幾組か見えて、心地よい波打ち際の散策が楽しめました。

城ヶ島灯台を過ぎると、飲食店や海産物店などが多くなりました。

帰り道に白秋ゆかりの白帆をイメージした碑を見て、近くの「**白秋記念館**」に立ち寄りました。ここでは丁度、雨はふるふる♪と「**城ヶ島の雨**」の曲が流れていて、今日の雰囲気にぴったりでした。

さらに、北原白秋は、われらふるさとの民謡「**茶っきり節**」の作詞者でもあり、縁を感ずる一日でもあった。

ちゃっきり
ちゃっきり
ちゃっきりよ
きゃあるが
なくんで
雨づらよ…
雨は降る降る
城ヶ島の磯に

北原白秋　作詞

↙三芳神社は古くから道真を祭った川越城域の天神様で、境内の一角に通りゃんせわらべ唄発祥の地の碑がある。ここで昼食。私は市役所のそばの蕎麦屋を探し求めた。

通りゃんせ　三世に芳し　野の梅や
腰のある　手打ち蕎麦噛み　足強め

氷川神社では婚礼の真っ最中を一寸拝見。

大安や　社脇より垣間見る

菓子屋横丁で焼き芋を食らいつつ一番街へ。

十三里　九里より旨し　菓子横丁
蔵作り　商家の町並み　車列

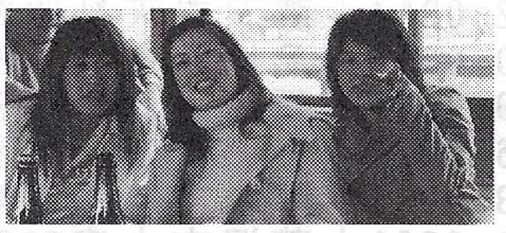
三時解散後、望月会長と高田馬場駅まで同席した。会長の地球を巡る旅ばなし帰りの電車に疲れ忘れりお蔭様今日一日を多謝多楽。

万歩計寄り道含め二万歩に

屋形船は春爛漫

カラオケ同好会&歩く会

S48年卒　杉本　芳子



今年もやってきましたお花見シーズン。

今回5回目となる屋形船（カラオケ同好会&歩く会主催）は、三月二十九日、午後一時、二十九人の善男善女（?）・静商健児を乗せて、木場を静かに出航しました。

今年の初参加は、S48年卒の焼津から鈴木清美さん、高崎から山中幸子さん、S34年卒水野恵司さん、そして一色社長（S31年卒）の秘蔵っ子の女子社員・二十代のギャル3人、若尾君（H6年卒）に高山（S49年卒）ジュニアと私でした。みんな期待でワクワク、ドキドキ！

はじめにカラオケ同好会の青木会長の挨拶、乾杯があり、海の幸とおいしい酒に舌づつみをうちながら、みんな再会に話が弾んでいました。静岡から、今年もビクター歌手の川守宏さん（S51年卒）が参加され、諸先輩方自慢の喉の披露に艶を増してくれました。

船が隅田川の岸辺に着いた頃、二分咲きの桜並木が、少し恥ずかしげに咲き並び、その美しい景色に、一同が甲板に出て、カメラのシャッターを押したり、携帯の写メールに写したりと大はしゃぎ、川辺に群がるカモメ、あさりの佃煮売りの小船、屋形船が数艘浮ぶ風景に心休まるひと時でした。

今年は春の訪れが遅く、外の桜は二分咲きでしたが、屋形船の中は、もう満開の花があちこちで、世界で一番の花のように咲き競い、春爛漫そのものでした。宴もたけなわ、お腹も心もいっぱいになった頃、平井さん（S36年卒）の小噺で笑わせてもらい、最後に恒例の校歌斉唱、S49年卒応援団、高山さんのエールのもと、一同の熱い歌声に、三人のギャルたちは愛校心の強さに驚いていました。

今年も最年長の甲田大先輩のお元気なお姿を拝し、一同、勇気と元気をもらいました。午後4時、屋形船は多くの想い出を残し、木場に無事到着しました。屋形船はまさに心の洗濯、癒し船であると思いました。

来年も、3月の最終土曜日です。どんな花が咲き競うのか、春爛漫、ぜひ楽しみに！

今年の幹事の皆さん、ありがとうございました、ご苦労様でした。

静商同窓会関東支部役員名簿（平成15年 5 月 1 日現在）

役職名	卒年	氏名	郵便番号	現住所	電話番号
顧問	S25.3	湯本 克巳	112-0006	文京区小日向1-19-1	03-3947-8018
支部長	30.3	海野 昭	173-0003	板橋区加賀2-3-1-522	03-3963-5905
副支部長	32.3	宗野 治義	227-0063	横浜市青葉区榎が丘50-8	045-983-6339
副支部長	40.3	関塚 仍子	339-0004	岩槻市徳力454-8	048-794-8900
幹事長	36.3	鈴木 晧介	247-0002	横浜市栄区小山台2-34-30	045-893-0912
副幹事長	48.3	青木 洋一	140-0001	品川区東品川3-1-21ビッグヴァンボーディアム404	03-3450-8156
会計	34.3	鈴木 啓嗣	245-0016	横浜市泉区和泉町7406-8	045-303-5391
会計監査	27.3	成川 貞夫	359-1145	所沢市山口1031-5	042-925-3435
会計監査	29.3	富田 修一	270-1435	白井市清水口3-37-3	047-492-7716
常任幹事	29.3	山田 雅子	321-0951	宇都宮市越戸町123-10	028-662-0017
常任幹事	31.3	長谷川 勉	274-0804	船橋市みやぎ台4-8-15	047-447-1822
常任幹事	33.3	曽我 和善	167-0051	杉並区荻窪2-28-9	03-3393-0758
常任幹事	36.3	平井 幸雄	193-0824	八王子市長房町625-26	0426-63-9812
常任幹事	38.3	杉本 博行	120-0005	足立区綾瀬3-4-9 水村マンション705	03-5682-5696
常任幹事	42.3	山口 ひろみ	336-0934	さいたま市大谷口5413-12-201	048-873-1086
常任幹事	43.3	長橋 修	267-0055	千葉市緑区越智町705-504	043-294-7907
常任幹事	43.3	冨田 正巳	229-1133	相模原市南橋本1-4-25-104	042-779-3061
常任幹事	H 6.3	若尾 剛志	279-0041	浦安市堀江1-21-12,201	047-350-5659
幹事	S13.3	甲田 安太郎	201-0002	狛江市東野川1-24-9	03-3489-5380
幹事	16.3	田中 幸太郎	253-0053	茅ヶ崎市東海岸北2-2-30	0467-82-5972
幹事	20.3	久保 弥六	103-0007	中央区日本橋浜町2-19-1	03-3666-7373
幹事	21.3	嶋田 安雄	274-0065	船橋市高根台4-13-9	047-466-7394
幹事	23.3	関 勉	276-0025	八千代市下市場2-9-7	047-484-2361
幹事	24.3	後藤 一雄	274-0067	船橋市大穴南1-11-3	047-464-2458
幹事	24.3	森下 壹雄	277-0061	柏市東中新宿3-19-5	0471-72-3864
幹事	24.3	内藤 義人	182-0006	調布市西つつじケ丘4-23-41-105	0424-88-7803
幹事	26.3	天野 覚	185-0002	国分寺市東戸倉1-18-2	042-323-3248
幹事	27.3	池田 博之	270-1143	我孫子市天王台1-24-10-401	0471-83-0946
幹事	27.3	藤浪 稔央	212-0005	川崎市幸区戸手4-9-2-205	090-3514-4005
幹事	28.3	知光 敬矩	168-0063	杉並区和泉2-7-14	03-6762-7720
幹事	28.3	上山 富義	251-0861	藤沢市大庭5056-6,1-1-1072	0466-86-2941
幹事	29.3	榊原 貞夫	203-0034	東久留米市弥生1-3-23	0424-65-1891
幹事	30.3	望月 秀雄	182-0022	調布市国領町6-24-9	0424-87-1497
幹事	30.3	佐藤 富士夫	276-0044	八千代市萱田町1100-13	047-485-1143
幹事	31.3	一色 正一	215-0012	川崎市麻生区東百合丘1-24-2	044-955-7363
幹事	31.3	渡辺 忠章	242-0011	大和市深見3211-15	046-263-3692
幹事	32.3	木佐森 達夫	167-0051	杉並区荻窪1-44-19	03-3391-0728
幹事	32.3	織部 忠義	252-0814	藤沢市天神町3-21-8	0466-81-2928
幹事	33.3	薩捶 英司	140-0011	品川区東大井2-23-4-208	03-3767-1154
幹事	34.3	小長井 武夫	169-0051	新宿区西早稲田1-22-2-306	03-5286-8362
幹事	36.3	前山 忠弘	336-0923	さいたま市大間木1545-4-203	048-874-1611
幹事	37.3	松田 弘	243-0034	厚木市船子734-22	046-224-7864
幹事	37.3	西島 一二三	251-0861	藤沢市大庭5529-8,808	0466-88-4416
幹事	38.3	梶山 恭一	188-0004	西東京市西原町4-5-37-6-707	0424-67-2913
幹事	39.3	清水 豊	276-0031	八千代市八千代台北16-10-12	047-405-0916
幹事	39.3	杉山 俊夫	263-0005	千葉市稲毛区長沼町150-32	043-250-6645
幹事	40.3	中畑 稔	264-0022	千葉市若葉区桜木町264-9	043-233-6450
幹事	41.3	小林 吉照	234-0054	横浜市港南区港南台1-16-5-101	045-831-7478
幹事	41.3	松本 豊	270-1143	我孫子市天王台4-11-23	0471-83-4893
幹事	42.3	高塚 年明	224-0029	横浜市都筑区南山田1-4-3-603	045-593-0193
幹事	42.3	小林 幸義	270-0007	松戸市中金杉1-187-5	047-347-4466
幹事	43.3	鈴木 幸夫	221-0802	横浜市神奈川区六角橋3-15-7	045-491-7322
幹事	45.3	安藤 俊	344-0012	春日部市六軒町322-5	048-738-3602
幹事	45.3	山梨 隆史	235-0023	横浜市磯子区森4-15-9-209	045-761-4313
幹事	46.3	大澤 伸公	338-0824	さいたま市上大久保904-10,A517	048-853-6968
幹事	47.3	久村 澄江	182-0012	調布市深大寺東町8-24-1-3-104	0424-87-9089
幹事	48.3	渡部 広志	285-0863	佐倉市臼井1800-59	043-489-1355
幹事	49.3	高山 房之	272-0106	市川市伊勢宿11-24-402 アルファグランデ行徳弐番街	047-358-1318
幹事	50.3	杉本 幸雄	174-0063	板橋区前野町3-20-4-305	03-5392-9768
幹事	51.3	萩原 克則	358-0021	入間市高倉1-9-31-B103	0429-65-5518
幹事	51.3	井上 真理子	215-0021	川崎市麻生区上麻生4-49-2	044-954-5455
幹事	54.3	矢部 正志	334-0004	鳩ケ谷市辻119-17	048-282-6957
幹事	55.3	岩出 小夜子	166-0016	杉並区成田西3-10-26	03-5377-4248
幹事	56.3	小菅 秀子	272-0834	市川市国分4-14-17	047-371-1706
幹事	H6.3	浦田 輝	111-0056	台東区小島町2-8-12-301	03-3862-0409

会費・寄付等納入者御芳名 （敬称略：順不同：単位千円）

会員の皆様の暖かいご支援、ご協力に対しまして厚く御礼申し上げます。平成１５年３月３１日までにご納入頂いた方々の御芳名を下記の通りご報告申し上げます。名簿作成に当たっては、誤字、記載漏れ等のないよう注意をいたしておりますが万一不手際がございました場合は深くお詫び申し上げます。　（注）氏名の右＊印は総会出席者を示します。

卒年・氏名	金額
S7年狩野 金作	10
10年海野 次郎＊	12
11年大石 達治＊	2
12年浦田 為雄	2
13年甲田 安太郎＊	5
14年小林 鉦次郎	5
中村 雅夫	5
天野 八郎	2
大塚 城夫	2
16年花島 正義＊	5
田中 幸太郎	10
大河内 武	2
石川 要一	2
17年石月 啓司	2
長嶋 敏	2
前田 謙治	2
20年久保 弥六＊	2
21年嶋田 安雄	3
鈴木 恒太	2
22年比奈地 徳三	2
23年関 勉＊	4
大橋 秀夫	4
24年森下 壹雄＊	12
石田 徳次郎＊	2
後藤 一雄＊	2
深尾 孝＊	2
油井 徳二＊	2
内藤 義人＊	2
里見 勝弘	5
山本 昭吾	3
増田 和也	2
山本 直樹	2
前田 俊夫	2
25年湯本 克巳＊	42
26年天野 覚＊	2
村越 英夫＊	2
根本 昭＊	2
和田 匡史＊	2
永井 生水	10
庄司 靖夫	3
滝 利雄	2
27年藤浪 稔央＊	32
成川 貞夫＊	4
望月 健三郎＊	4
浅井 武司＊	2
池田 博之＊	2
古川 兵伍＊	2
安田 春雄＊	2
磯部 信雄＊	2
斎藤 健＊	2
朝比奈 一郎＊	2
堺 精一	6
27年梅田 定男	2
斉藤 二郎	2
関根 進一郎	2
浅井 英一	2
寺田 勝美	2
志田 実	2
近藤 柳太郎	2
波多野 克哉	2
伊東 越朗	2
上田 伸子	2
石川 昌雄	2
桑原 宏幸	2
28年知光 敬矩＊	2
鈴木 基之	2
29年榊原 貞夫＊	4
山田 雅子＊	4
山本 欽次＊	2
三森 光雄＊	2
宮杉 亨＊	2
永井 賢雄＊	2
内海 知之＊	2
富田 修一＊	2
小松 英夫＊	2
前田 熊一郎＊	2
鈴木 正子＊	2
小林 貞夫＊	2
山岸 光男＊	2
興津 高里＊	2
浅場 啓介	30
浦山 實	2
上野山 三平	2
安池 貢	2
池田 裕代	2
大畑 辰雄	2
藪崎 義男	2
田中 恵津子	2
石川 冲	2
30年海野 昭＊	22
大森 泰次＊	2
望月 秀雄＊	2
望月 昌房＊	2
山本 京一＊	2
佐藤 富士夫	10
藁科 綸造	10
亀山 勝雄	2
高木 慶二	2
服部 善男	2
古井 陸志	2
堀田 英夫	2
堀内 鋒行	2
31年長谷川 勉＊	7
山田 正彦＊	5
渡辺 忠章＊	4
小林 悦子＊	4
木村 明雄＊	2
大原 章利＊	2
一色 正一＊	2
野沢 多聞	5
勝見 勝江	3
大石 幸男	2
赤井 清	2
山内 五郎	2
高木 博	2
31年紅林 勲	2
井上 孝信	2
32年阿井 勝利＊	32
宗野 治義＊	12
織部 忠義＊	5
木佐森 達夫＊	5
伊藤 雅章＊	2
堤 正義＊	2
松本 一宇＊	2
斉藤 鉄治	2
松井 邦浩	2
芳村 昭太郎	2
石神 佳子	2
植野 大次郎	2
吾郷 裕子	2
33年曽我 和善＊	7
上條 佐恵子＊	4
森田 幸子＊	4
秋山 賢司＊	2
大橋 善悟＊	2
薩捶 英司＊	2
野呂瀬 誠子＊	2
竹内 清＊	2
原 芳夫＊	2
佐野 勝一	2
柴田 弘	2
高橋 勲	2
山田 治男	2
池ケ谷 栄一	2
高橋 甫	2
34年岡村 克己＊	4
桑原 達夫＊	4
柴 義弘＊	4
杉山 光男＊	4
鈴木 啓嗣＊	4
高木 美子＊	4
立石 佳子＊	4
竹内 祥子＊	4
常盤 秀樹＊	4
平井 シズヨ＊	4
水野 恵司＊	4
三尾 規子＊	4
戸井 政広＊	4
谷本 寅雄＊	2
土屋 堅固＊	2
藪崎 幸一＊	2
小長井 武夫＊	2
竹下 幸作＊	2
前田 雄佑＊	2
青木 利浩	2
大村 隆明	2
久野 千加士	2
立石 猛	2
田村 富男	2
萩原 卓	2
和田 政治	2
35年坊野 清之＊	7
秋山 八重子＊	4
秋山 卓男＊	2
勝亦 常夫＊	2
小林 一男＊	2
甲賀 邦夫＊	2
宗野 賢次＊	2
35年金子 きのえ	2
鈴木 祐輔	2
市川 幸子	2
鈴木 春恵	2
山田 昌之	2
36年鈴木 晧介＊	12
横島 啓枝＊	7
松平 俊男＊	5
増田 勝江＊	4
海野 治＊	2
平井 幸雄＊	2
土岐 守行＊	2
前山 忠弘＊	2
大石 康年＊	2
小長井 建昭＊	2
石井 清史＊	2
大村 三千夫＊	2
大橋 敬正＊	2
高木 英雄	4
鷲野 喜八郎	2
松下 孝	2
築地 鋭行	2
小泉 恵一	2
37年松田 弘＊	12
西島 一二三＊	4
安川 榮子＊	4
鈴木 守＊	2
安藤 徹＊	2
牧野 幸雄＊	2
長谷川 英樹＊	2
林 喜久次＊	2
増田 数茂	10
見崎 洋一郎	4
青島 幸一	2
38年吉澤 英夫＊	12
梶山 恭一＊	7
杉本 博行＊	7
浅場 利朗＊	2
鈴木 一晴＊	2
牧野 正嗣＊	2
増田 実＊	2
松木 範一＊	2
吉田 茂夫＊	2
斉藤 誠治	4
青島 勲	2
五十嵐 昭夫	2
互井 まりこ	2
八木 勝司	2
39年川崎 衛＊	5
杉山 俊夫＊	2
清水 豊	12
青柳 秀雄	3
40年関塚 仍子＊	12
森谷 綾子＊	2
見城 正博＊	2
中畑 稔	2
鷲巣 雅彦	2
鈴木 朱美	2
萩原 久子	2
庭野 美恵子	2
山村 利男	2
神谷 雅男	2
40年中野 幸子	2
中野 睦夫	2
長尾 健次	2
41年小林 吉照＊	2
吉田 武男	3
高木 光子	2
坊野 秀美	2
42年高塚 年明＊	7
小林 幸義＊	2
山口 ひろみ＊	2
赤津 澄江＊	2
吉野 秀男＊	2
長島 喜久男＊	2
高山 康明	2
43年岩下 喜美枝＊	2
金田 京子＊	2
冨田 正己＊	2
長橋 修＊	2
原木 妙子＊	2
林 和義＊	2
滝浪 利信	3
石田 愛子	2
久保田 規夫	2
45年山口 千江	2
46年稲葉 和男＊	4
大澤 伸公＊	4
斎藤 礼子	2
大野 康彦	2
三石 輝子	2
47年青木 輝美＊	4
48年冨井 商之＊	4
冨田 みな子＊	2
岩城 一恵＊	2
牛村 優子＊	2
及川 のり子＊	2
渡部 広志＊	2
斎藤 まり子＊	2
青木 洋一＊	2
青島 正一＊	2
仁田 直機	2
依田 寿江	2
49年高山 房之＊	4
51年川守 宏＊	2
吉永 忠広	3
53年阿部 洋子	2
松岡 美詠子	2
54年天野 厚＊	2
金原 張尚＊	2
矢部 正志＊	2
大沼 弘明＊	2
山中 貴司＊	2
55年稲場 陽	2
H6年若尾 剛志＊	4

— コンピュータ・ソフトウェア開発 —

株式会社　エイプルジャパン

代表取締役　阿　井　勝　利（32年卒）

〒105-0014
東京都港区芝2丁目31-19 B・Zビル2F
TEL 03-5443-1235　FAX 03-5443-1236

営 業 所：東京事業所・大阪営業所・福岡営業所・新潟営業所・札幌営業所
事業概要：● コンピュータソフト各種開発
● CALS・EC（電子商取引）・応用・業務・制御システム・イントラネットシステム・マルチメディアシステムのコンサルテーション、設計、開発、保守
● ユーザサポート（スーパーコンピュータ大型コンピュータの各種OS）

やまのふところの国
奥伊豆
AMAGI

自然林と茅葺屋根、11の湯処

日本の宿　嵯峨沢館
〒410－3209
静岡県田方郡天城湯ヶ島町門野原400－1
TEL　0558－85－0115
植田　麻巳（幸子改名）（38年卒）

レーザプリンタと普通紙FAX用の
トナーカートリッジのリユース（再生）
（大幅な経費節減が出来ますのでご相談下さい。）
ISO14001 取得

株式会社スワットビジネス

代表取締役　常盤秀樹（34年卒）
本社：東京都千代田区神田錦町3-6（共同ビル　2F）
TEL（03）5283-0151　FAX（03）5283-0322
home-page：http://www.swat-biz.co.jp
e-mail：tokiwa@swat-biz.co.jp
名古屋工場：名古屋市西区城西155

KOKEN
株式会社　光　建

代表取締役　知 光 敬 矩（28年卒）

〒151 渋谷区西原2-34-2
TEL 03-3468-7700　FAX 03-3467-0202
千代田区三崎町・中野区中央・光建ビル

トイレットペーパー・タオルペーパー・モップ・ウエス及清掃用品
各種マット及敷物・スチール製品及家具
オフィス文具・事務用品・ビル管理用品・ビル清掃用具

東京都紙商組合員
マルミ屋株式会社

代表取締役　湯 本 克 巳（25年卒）

本　社 〒104-0051 中央区佃1-9-11　TEL 03-(3531)-6878・5778　FAX 03-(3531)-5771
営業所 〒174-0041 板橋区舟渡4-3-1 新日本製鉄株式会社 東京製造所内　TEL 03-(3968)-6841

三共綜合印刷株式会社

代表取締役　藤 浪 稔 央（27年卒）

〒102-0072 千代田区飯田橋3-11-22
TEL 03-3230-4555
FAX 03-3230-4880

今年も、今年こそ、今年から
集おう！ 鉄鋼会館へ
静商 同窓会 関東支部総会・懇親会
2003.7.12（土）
午後2：00から
詳しくは9ページを

2003 NEW!! WAKAFUJI KOKUTAI

"がんばる"が好き　第58回 国民体育大会

NEW!! わかふじ国体

夏季大会　平成15年 9月13日（土）～ 9月16日（火）
秋季大会　平成15年10月25日（土）～10月30日（水）

2003 WAKAFUJI TAIKAI

第3回 全国障害者スポーツ大会

静岡で かなえよう夢 つたえよう感動

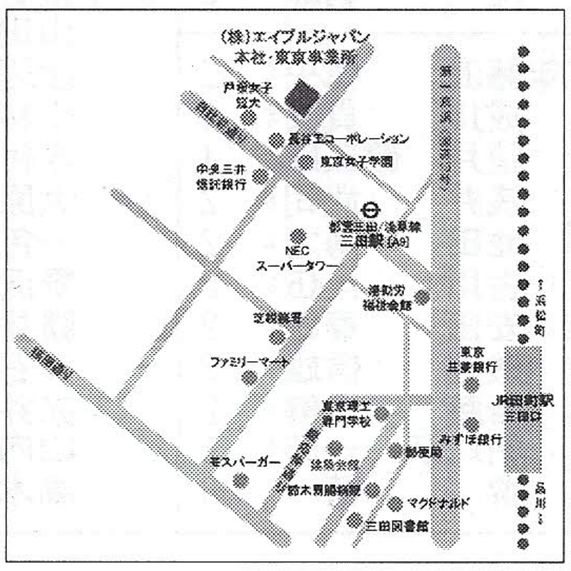
わかふじ大会

OFFICIAL SITE

平成15年11月8日（土）～11月10日（月）
http://www.pref.shizuoka.jp/seibun/sb-06/

平成15年5月に次のところへ移転しました。

〒108-0073
東京都港区芝2丁目3-19
バンザイビル2F
株式会社エイプルジャパン内
TEL03－5443－9230



静商 同窓会 関東支部の事務所移転